

年 報

—平成 28 年度—

2017
大磯町郷土資料館
OISO MUNICIPAL MUSEUM

はじめに

平成 28 年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

平成 28 年度は、大磯町郷土資料館が大きな転機を迎えた 1 年でした。前年度の平成 28 年 3 月 22 日から 11 月 2 日まで展示リニューアル工事に伴い臨時休館し、11 月 3 日についてリニューアルオープンをしました。また、平成 29 年 4 月 1 日に旧吉田茂邸のオープンを迎えるにあたって、3 月 26 日に旧吉田茂邸落成記念式典、3 月 27 日から 3 月 31 日には再建基金寄附者並びに協力者内覧会を開催いたしました。こうした大きな事業を軸に業務を進める一方で、並行して当館の特徴である地域情報を掘り下げた企画展を 3 本実施するとともに、学級・講座もリニューアル以前と同様に大磯自然観察会（平成 11 年度開始）、古文書裏打クラブ（平成 16 年度開始）、海の森クラブ（平成 22 年度開始）、古文書解読クラブ（平成 24 年度開始）を再開しました。また、新たに写真整理クラブを立ち上げました。

平成 29 年 4 月 1 日からは大磯町郷土資料館の別館として位置付ける旧吉田茂邸がオープンします。これまでの大磯町郷土資料館の活動と同様に魅力ある事業を進めていきますので、引き続き、ご理解・ご協力を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

大磯町郷土資料館

目 次

[事業報告]

庶務	2
・組織および職員	2
・運営委員会	2
・予算	2
・維持管理	3
・入館者	3
学芸	4
・巡回展	4
・企画展	5
・学級・講座	6
・研究活動	8
・リニューアル事業	8
・博物館資料の整備	8
・学校教育との連携	9
・取材対応	10
・ホームページを活用した情報発信	11
・刊行物	11
・調査・研究・普及	12
・博物館資料の収集、整備、利用	14
・文献資料収集状況	17
旧吉田茂邸再建事業	20
・維持管理	20
・博物館資料の整備	20
・旧吉田茂邸落成記念事業	21

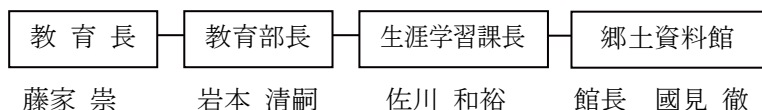
[研究報告]

小規模博物館の常設展示リニューアルに携わって	
富田 三紗子	24
「ワークショップ・石仏クラブ」調査報告	
—旧大磯町地域の石造物—	
川邊 絢一郎	31

事業報告

庶 務

■ 組織および職員



副主幹／学芸員	北水 慶一
主事／学芸員	富田三紗子
主事	伊藤恵理子
主事補／学芸員	久保庭 萌
臨時職員／司書	諏訪部房代
臨時職員／自然観察指導員	
	高山 優美
臨時職員／学芸員	肥沼 恵一
臨時職員／学芸員	川邊絢一郎
臨時職員／学芸員	飯野 友紀
臨時職員／学芸員	鈴木 千津
臨時職員	名取 淳子
臨時職員	川下多恵子
臨時職員	佐藤 瑞香
臨時職員	鈴木 道子
臨時職員	花輪 弘枝

■ 運営委員会

<委員の構成>

- ・委員長／近藤 英夫（学識経験者）
- ・副委員長／稲葉 和也（家庭教育の向上に資する活動を行う者）
- ・委員／広谷 浩子（学識経験者）
新見由美子（社会教育関係者）
青木 弘（学校教育関係者）

<委員会の開催>

- ・第1回／平成28年7月8日

議題1	平成27年度事業報告について
議題2	平成28年度事業について
議題3	旧吉田茂邸再建について
議題4	展示リニューアルについて
- ・第2回／平成28年12月21日

議題1	平成28年度事業進捗状況について
議題2	旧吉田茂邸再建について
議題3	展示リニューアルについて
- ・第3回／平成29年2月15日

議題1	平成28年度事業進捗状況報告について
議題2	大磯町郷土資料館条例施行規則について
議題3	平成29年度事業計画について
議題4	旧吉田茂邸再建について

■ 予算

<当初予算の推移>

事業	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
金額	40,956,000	43,650,000	46,587,000	200,095,000	512,125,000	147,274,000

<平成 28 年度決算>

事業	郷土資料館 運営事務事業	郷土資料館 維持管理事業	学芸活動事業	教育普及・ 企画展事業	
金額	4,525,967	9,216,624	3,071,331	1,606,714	
事業	旧吉田茂邸 維持管理事業	郷土資料館 リニューアル事業	旧吉田茂邸 再建事業	郷土資料館 施設整備	計
金額	54,870,689	73,906,139	174,233,680	6,445,980	327,877,124

□職員給与（5人分） 33,157,005 円 ■歳出合計 361,034,129 円

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／(株)湘南県央サービス
- ・警備委託／(株)全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／ダイコー(株) 横浜営業所
- ・敷地管理委託／(財)神奈川県公園協会
- ・空調機器給水設備保守委託／(株)根布工業
- ・自家用電気工作物保守委託／吉川電気管理事務所（4、5月）、荻野電気管理事務所（6～3月）
- ・消防用設備保守委託／(株)三栄防災
- ・自動ドア保守委託／(株)神奈川ナブコ 厚木支店

<修繕>

- ・トイレ改修工事／匠建設(株)
- ・壁面照明修繕／(株)丘電機
- ・雨水槽排水ポンプ修繕／(株)根布工業
- ・男子トイレフラッシュバルブ取替／(株)岩田土木管工
- ・ショーケース照明修繕／(株)丘電機
- ・男子トイレ洋式便器修繕／(株)岩田土木管工
- ・高圧ケーブル終端部改修／(株)志村電気

■ 入館者

<入館者数の推移>

単位：人、日

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	累計（昭和 63 年～）
入館者数	25,349	29,179	30,335	25,673	17,862	895,242
1日平均／開館日数	86／295	101／290	102／296	91／283	149／120	112／8,008

<月別入館者数>

単位：人

	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	5,601	2,809	2,356	2,987	4,109	17,862
1日平均	233	122	102	130	152	149

<見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	8	5	1	2	6	22

<研修室の利用>

単位：団体

	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	10	10	10	11	13	54

■ 巡回展

郷土資料館展示リニューアル工事の休館中、町内の公共施設において、過去に実施した企画展を要約したパネル展を3回開催した。

第1回巡回展「海の中の植物・海藻～いろいろな色 いろいろな形～」

期 間／平成28年5月28日（土）～6月26日（日）

開場日数／30日間

会 場／大磯町生涯学習館 エントランスホール

出品点数／37点

趣 旨／海藻は万葉集に詠み込まれるなど、古来より親しまれてきた植物である。ノリ、ワカメ、コンブなどは食材として利用され、食物繊維が豊富で低カロリーな自然食品としてよく知られている。食材以外にも衣料品・医療品・肥料など様々な分野で利用されている。また、環境面では海中に森を作り、他の生き物に生活の場を提供するとともに、海水の浄化や地球温暖化を防止する働きをしている。

本展は、海藻の多彩な色彩、形に触れ、興味を持っていただくとともに、海藻が自然環境において重要な役割を担っていることを学ぶ機会とする。

内 容／平成27年度に開催した企画展「海の中の植物・海藻～いろいろな色 いろいろな形～」の内容を凝縮して紹介した。海藻の標本、写真とともに有用性を紹介したパネルを展示した。

（担 当）高山



第2回巡回展「大磯町の海辺の自然」

期 間／平成28年7月23日（土）～8月31日（水）

開場日数／40日間

会 場／神奈川県立城山公園 旧吉田茂邸地区管理休憩棟

出品点数／40点

趣 旨／大磯町の海岸では、アオバトをはじめ磯の生物や海浜植物など様々な生物が見られる。また、近年では非常に珍しくなったアカウミガメの産卵が度々、確認されている。本展は、海辺の自然に生息する生物に親しみ、知識を深める機会とする。

内 容／平成22年度に資料館において開催した企画展「大磯町の海辺の自然」の内容を凝縮し、アオバト、アカウミガメ、海浜植物、磯の生き物を写真パネルで紹介した。

（担 当）高山



第3回巡回展「大磯の災害」パネル展

期 間／平成28年9月17日（土）～10月16日（日）

開場日数／27日間

会 場／大磯町立図書館 展示コーナー

出品点数／12点

趣 旨／大磯の災害史をわかりやすく伝え続けるために、平成24年度春季企画展として開催した「大磯の災害」展の内容をパネルにまとめた。

震災直後は、地域で過去に起きた災害を振り返り、防災に役立つ動きが活発になったが、時間が経った今、災害に対する関心が薄れてきていることは否めない。改めて、大磯の過去の災害を振り返る機会として、「大磯の災害」パネル展を開催する。

内 容／大磯の災害を「地震」、「風水害」、「噴火」の3つのテーマに分け、大磯町のマスコットキャラクター「いそべえ」と「あおみ」の会話形式による解説によってまとめたパネルを展示した。また、危機管理課による防災に関する展示も同時に行った。

（担 当）富田



■ 企画展

大磯町郷土資料館リニューアルオープン記念

企画展「遺跡からみる近代別荘地の形成と展開」

期 間／平成28年11月3日（木・祝）～12月18日（日）

開場日数／39日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約300点

料 金／無料

入館者数／7,801人

趣 旨／郷土資料館リニューアルに際し、別荘文化を中心に、近現代史に特化した展示を強化することから、リニューアルオープン記念企画展においては、別荘文化の形成と発展に関わる資料を広く紹介する。また、同時に館の方向性をアピールすることも目途とする。

内 容／神奈川県内における各地の遺跡の発掘調査成果等で得られた近代の資料をもとに、外国人居留地の設置と居留地から派生した鉄道の敷設及び延線と鉄道の延線に伴う人の移動、更に別荘地の形成をたどる展示構成とした。また、特筆すべき関連事項についても併せて紹介した。

〔関連行事〕

担当学芸員による展示解説

日 時／〔第1回〕平成28年11月13日（日）、〔第2回〕12月11日（日）

いずれも14時～14時30分頃

会 場／大磯町郷土資料館 企画展示室

参加人数／〔第1回〕28人、〔第2回〕25人

内 容／担当学芸員が企画展示の内容を30分程度で解説した。

（担 当）國見、川邊



平成28年度「かながわの遺跡」巡回展

「かながわの最初の現代人—旧石器時代のヒトと社会—」

主 催／神奈川県教育委員会・大磯町郷土資料館

期 間／平成29年1月21日（土）～2月26日（日）

開場日数／31日間

会 場／郷土資料館 企画展示室・廻廊

出品点数／555点

料 金／無料

入館者数／4,077人

趣 旨／埋蔵文化財を通して郷土の歴史と文化への関心を高め、文化財の保護についての理解を深めてもらうことを目的に、県内の発掘調査により出土した資料を活用した巡回展を開催する。

内 容／今から約3万8千年前、日本列島に最初にやってきた人々は我々と同じ現代人（ホモ・サピエンス、現生人類）であった。後期旧石器時代の人々は生物学的に現代人であることが以前からわかっているが、彼らが残した石器などの道具や生活の跡は、それまでの化石人類にはみられない特徴を持っていることが最近の研究で明らかになってきた。今回の展示では、旧石器時代の人々の行動について、現代に通じる部分を探るべく、神奈川県内の最近の出土資料を中心に展示を行う。

〔関連行事〕

① 特別講演「日本列島に現れた最初の現代人：年代と文化的特徴」

日 時／平成29年2月19日（日）14時～16時

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／出穂雅実氏（首都大学東京准教授）

参加人数／77人



② 担当職員による展示解説

日 時／〔第1回〕平成29年1月29日（日）、〔第2回〕2月12日（日）
いずれも13時30分～14時頃
会 場／大磯町郷土資料館 企画展示室
参加人数／〔第1回〕24人、〔第2回〕29人
内 容／担当職員が企画展示の内容を30分程度で解説した。
（巡回展担当）國見、川邊

旧吉田茂邸落成記念企画展「吉田茂 ―その生涯と大磯―」

期 間／平成29年3月26日（日）～5月7日（日）
開場日数／38日間
会 場／郷土資料館 企画展示室・廻廊
出品点数／約100点
料 金／無料
入館者数／7,701人
趣 旨／平成21年3月に焼失した旧吉田茂邸の再建工事が完了し、郷土資料館の別館として平成29年4月に開館するにあたり、吉田茂の業績や大磯での生活を中心とした企画展を開催する。当館に所蔵されている、平成23年度に財団法人吉田茂国際基金からご寄贈いただいた資料を中心に展示を行う。また、再建事業の進行に伴い、ご寄贈いただいた他の吉田茂関連資料もこの機会に紹介する。
内 容／幼少時代より大磯で多くの時間を過ごし、戦後の日本を鋭い鑑識眼と的確な状況把握能力で牽引した業績を紹介する。また、おおらかで素直な人間性をもつ吉田茂の魅力を、大磯での暮らしを通して伝える。このほか、吉田が過ごした邸宅や邸内の七賢堂などの紹介も行う。
（担 当）久保庭、富田



■ 学級・講座

古文書裏打ちクラブ

期 日／平成28年11月19日（土）、12月17日（土）、平成29年1月21日（土）、2月18日（土）、3月18日（土）
場 所／郷土資料館 研修室
講 師／鶴飼レイ子氏、中村ふぢ氏、吉原悦子氏
参加人数／延54人
内 容／裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行うワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成16年度から継続している。活動内容は、昨年度に引き続き、襖や屏風に下張りされていた古文書の資料化を進めた。会員を随時募集し、今年度は3名の新規入会があった。
（担 当）富田



古文書解読クラブ

期 日／平成28年11月12日（土）、12月3日（土）、平成29年1月7日（土）、2月4日（土）、3月4日（土）
場 所／郷土資料館 研修室
参加人数／延45人
内 容／郷土資料館が所蔵する古文書を会員と共に解読することにより、大磯の歴史を学び、古文書資料の活用を図ることを目的として、平成24年度から毎月第一土曜日を原則として



活動を始めた。今年度から新たに、町指定文化財である大磯宿小島本陣資料の休泊帳を解読し、翻刻文を刊行することを目指している。また、昨年度に引き続き、会員有志で毎週金曜日の活動を行い、大正期の大磯町の助役日誌を解読している。なお、今年度は新規会員を募集しなかった。

(担 当) 富田

大磯自然観察会

期 日／平成 28 年 11 月 26 日(土)、12 月 10 日(土)、平成 29 年 1 月 28 日(土)、2 月 25 日(土)、3 月 11 日(土)

場 所／大磯運動公園、大磯町西小磯、国府本郷地区

参加人数／延 56 人

内 容／本ワークショップは、調査を通して植物についての知識を深めるとともに、身近な自然に親しむことを目的に平成 11 年度に活動を開始した。これまでに第 1 次調査 秋の植物分布調査〔平成 11 年度・12 年度〕、第 2 次調査 県立大磯城山公園の植物調査〔平成 13～17 年度〕、第 3 次調査 星槎湘南大磯キャンパス（万台こゆるぎの森）の植物調査〔平成 18～20 年度〕を実施してきた。現在は第 4 次調査として、大磯運動公園及びその周辺地域の植物調査を行っている。



(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容	月 日	内 容
11 月 26 日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	12 月 10 日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	1 月 28 日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
2 月 25 日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	3 月 11 日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査		

(担 当) 北水

海の森クラブ

期 日／平成 28 年 11 月 30 日(水)、12 月 21 日(水)、平成 29 年 1 月 18 日(水)、2 月 15 日(水)、3 月 15 日(水)

場 所／町内海岸

参加人数／延 7 人

内 容／本年度 7 年目となるワークショップ。大磯町の海藻の目録化を目的として活動を進めている。例年と同様に季節ごとの海藻の生育状況を確認するため、北浜海岸、照ヶ崎海岸と大磯港の定点観察を実施した。



(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容	月 日	内 容
11 月 30 日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察	12 月 21 日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察	1 月 18 日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
2 月 15 日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察	3 月 15 日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察		

(担 当) 高山

写真整理クラブ

期 日／平成 28 年 11 月 27 日(日)、12 月 11 日(日)・25 日(日)、平成 29 年 1 月 15 日(日)・29 日(日)、2 月 12 日(日)・26 日(日)、3 月 12 日(日)

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／延 39 人

内 容／郷土資料館が所蔵する写真を会員と共に整理し、資料の活用を図ることを目的として、平成 28 年度から毎月第二、第四日曜日を原則として活動を始めた。活動内容としては、『広報おおいそ』担当者が撮影した写真のフィルムをスキャンし、デジタル化した。また、必要に応じてフィルムの清掃を行った。



(担 当) 富田・久保庭・肥沼

■ 研究活動

戦時中の大磯に関する調査

期 日／平成 28 年 10 月 27 日(木)、12 月 6 日(火)・11 日(日)、平成 29 年 2 月 15 日(水)・22 日(水)、3 月 12 日(日)

内 容／平成 27 年に終戦 70 年を迎え、戦争の記録が失われつつある中、大磯の戦時中の状況を把握することを目的として、今年度から関係の調査を始めた。今年度は、空襲を体験された方から聞き取り調査を行い、町内に残された壕の状況把握を行った。聞き取り調査は、4 人の方にご協力いただいた。

(担 当) 富田

■ リニューアル事業

展示リニューアル工事、中庭整備工事を発注し、あわせて展示に活用する資料の整備を進めた。

<工事>

展示リニューアル工事

業務内容／エントランスホール、展示ホール、廻廊、常設展示室の展示を更新する。既設大型展示物を撤去し、ガラスケース、展示台等を新設する。スポットライトをLEDに交換する。

契約工期／平成 27 年 9 月 1 日 ～ 平成 28 年 6 月 30 日

請 負 者／(株)丹青社

中庭整備工事

業務内容／大磯町郷土資料館が、将来にわたって安全に維持管理を行い、博物館活動を有効に機能させるとともに、来場者の休息場所としても活用されるよう中庭整備工事を行う。

契約工期／平成 28 年 7 月 20 日 ～ 10 月 31 日

請 負 者／(株)杉山土建

<委託>

展示リニューアル工事監理委託

業務内容／展示リニューアル実施設計委託の成果に基づき、改修工事を適切に監理し、円滑かつ確実な工事が施工されるように努める。

契約工期／平成 27 年 6 月 12 日 ～ 平成 28 年 6 月 30 日

請 負 者／(株)坂倉建築研究所

中庭整備工事監理業務委託

業務内容／郷土資料館中庭整備工事を円滑に実施すべく適切な現場技術工事監理を行う。

契約期間／平成 28 年 5 月 10 日～11 月 10 日

請 負 者／(株)ランズ計画研究所

城山荘保存部材展示委託

業務内容／展示リニューアル工事に伴い、かつて県立大磯城山公園内に存在した「城山荘」の保存部材に新規部材を組み合わせて、展示品を製作し、設置する。

契約期間／平成 28 年 6 月 3 日 ～ 7 月 10 日

請 負 者／(株)安井杵工務店

■ 博物館資料の整備

<資料整備委託>

木造神像保存処理委託

業務内容／町指定有形文化財木造神像 11 軀のうち、1 軀について保存処理を行う。

契約期間／平成 28 年 5 月 10 日 ～ 平成 29 年 3 月 17 日

請 負 者／光圓美術研究所

海水浴場開設 50 年ポスター修理委託

業務内容／金具のさびなどによって破損している当館所蔵の海水浴場開設 50 年ポスターを修理する。

契約期間／平成 28 年 9 月 9 日 ～ 12 月 20 日

請 負 者／(有)紙資料修復工房

■ 学校教育との連携

<児童・生徒を対象とした学習指導>

	学校から郷土資料館へ (郷土資料館の見学、学習指導)		郷土資料館から学校、町内各所へ (郷土資料館外への講師派遣)	
幼稚園 保育園	11月8日	れんげ幼稚園(小田原市)遠足	5月23日	大磯幼稚園遠足「磯遊び」
	11月16日	めぐみ幼稚園(二宮町)遠足	\	
	11月18日	もんもん保育園(平塚市)遠足		
	2月28日	国府幼稚園遠足		
	3月3日	たかとり幼稚園遠足		
	3月7日	国府保育園遠足		
小学校	10月20日	国府小学校4年生社会科学習 「昔から今へと続くまちづくり」	4月26日	国府小学校4年生理科学習 「春の自然」
	3月7日	国府小学校3年生社会科学習 「昔のくらし」	5月17日	大磯小学校3年生総合学習 「大磯の今と昔を調べよう」
	\		5月27日	国府小学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」
			5月31日	大磯小学校3年生総合学習 「いっぱい知りたい!大いそ町!」
			7月11日	国府小学校4年生理科学習 「夏の自然」
			7月29日	国府小学校PTA主催行事 あそび塾「ビーチコーミング・アート」
			11月10日	一色小学校(二宮町)6年生総合 学習「樹木の名札付け」
			11月18日	国府小学校4年生理科学習 「秋の自然」
2月21日	国府小学校4年生理科学習 「冬の自然」			
中学校	1月26日 27日	国府中学校1年生職場体験	5月27日	国府中学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」
	\		12月2日	大磯中学校1年生総合学習 「左義長」

<教員を対象とした講義>

- ・大磯町立学校新採用職員研修(5月)
- ・総合学習に生かせる大磯の自然散策(7月)

<その他の活動>

- ・理科副読本「大磯の自然—植物編—」の作成(年間)
(担 当)北水・富田・川邊

■ 取材対応

<刊行物>

- ・読売新聞 掲載未詳「鳴立庵の歴史や湘南について」(富田)
- ・京仁日報 掲載未詳「日本と高句麗の関係～高麗山と高来神社と高麗寺」(富田)
- ・湘南リビング『町民便利帳おいそ暮らしのガイド 平成29年2月発行』「旧吉田茂邸再建について」(久保庭)
- ・毎日新聞 平成28年10月25日掲載「大磯町郷土資料館リニューアル」(國見)
- ・湘南ジャーナル 平成28年10月28日掲載「大磯町郷土資料館が来月リニューアル 別荘地としての歴史に重点」(國見)
- ・読売新聞 平成28年10月27日掲載「大磯町郷土資料館 刷新」(國見)
- ・リビング平塚・大磯・二宮 平成28年10月29日掲載「別荘地・大磯町の郷土資料館が11月3日にリニューアルオープン」
- ・東京新聞 平成28年11月2日掲載「大磯町郷土資料館あす新装オープン」(北水)
- ・産経新聞 平成28年11月17日掲載「大磯町郷土資料館リニューアル」(國見)
- ・日本経済新聞 平成28年12月10日掲載「首都圏まるかじり 別荘文化 花開いた大磯／伊藤博文・吉田茂ら過ごす」(北水)
- ・朝日新聞 平成28年12月「湘南の名称の由来について」(富田)
- ・朝日新聞 平成28年12月「高麗寺の歴史について」(富田)
- ・JTB パブリッシング「ノジュール」(平成29年2月末発行)「旧吉田茂邸の利用案内」(久保庭)
- ・読売新聞 平成29年3月3日掲載「焼失もう二度と 来月開館 旧吉田茂邸 消防訓練」(國見)
- ・朝日新聞 平成29年3月3日掲載「再建の旧吉田邸 火災想定し訓練 来月の開館へ決意新た」(國見)
- ・毎日新聞 平成29年3月3日掲載「再建の旧吉田邸 消防訓練に40人 大磯・来月1日公開」(國見)
- ・東京新聞 平成29年3月3日掲載「二度と火事起こさぬ 来月開館の旧吉田茂邸で消防訓練」(國見)
- ・神奈川新聞 平成29年3月3日掲載「二度と焼失させない 来月開館旧吉田邸で消防訓練」(國見)
- ・昭文社『首都圏発 日帰り 大人の小さな旅 (平成29年3月16日発行)』「城山公園および旧吉田茂邸の利用案内」(久保庭)
- ・読売新聞 平成29年3月掲載「企画展『吉田茂』の見どころ」(富田)
- ・読売新聞 平成29年3月18日掲載「旧吉田茂邸報道陣に公開」(國見)
- ・朝日新聞 平成29年3月18日掲載「大磯の旧吉田邸 再建し来月開館」(國見)
- ・東京新聞 平成29年3月18日掲載「来月1日公開 再建の旧吉田茂邸 首相時の執務室再現 本革ソファ、暖炉なども」(國見)
- ・神奈川新聞 平成29年3月18日掲載「旧吉田茂邸 愛用品、高精度で再現」(國見)
- ・読売新聞 平成29年3月19日掲載「旧吉田茂邸よみがえる 大磯町来月一般公開 戦後政治の舞台 忠実に 没後50年記念イベントも」(國見)
- ・毎日新聞 平成29年3月24日掲載「旧吉田茂邸公開 元首相のモダンな生活空間味わって 来月1日オープン 照明や家具 写真など参考に再現」(國見)
- ・ポスト県西版 平成29年3月24日発行「大磯町旧吉田茂邸 4/1(土)より公開」(國見)
- ・タウンニュース 平成29年3月24日発行「旧吉田茂邸 生前の客間など再現 4/1(土)から一般公開 企画展と記念イベントも」(國見)
- ・読売新聞 平成29年3月27日掲載「旧吉田茂邸再建 感慨深く 大磯で落成記念式 麻生副総理ら出席」
- ・毎日新聞 平成29年3月27日掲載「活気取り戻す一助に 旧吉田茂邸落成記念式典 麻生氏らエール 観光資源に期待」
- ・日経新聞 平成29年3月27日掲載「焼失の旧吉田茂邸再建 孫の麻生氏『毎週来た』」
- ・産経新聞 平成29年3月27日掲載「旧吉田茂邸復活 来月1日から公開」
- ・神奈川新聞 平成29年3月27日掲載「吉田茂の足跡次代へ 大磯旧邸宅の再建式典 孫の麻生副総理ら祝う」
- ・朝日新聞 平成29年3月30日掲載「戦後政治の舞台再現 大磯の旧吉田茂邸1日から一般公開 町郷土資料館 贈り物や写真を展示」(富田)
- ・読売新聞 平成29年3月30日掲載「祖父・吉田茂の時計寄贈 麻生氏、大磯町に 再建『旧邸』で展示へ 親しみある元首相紹介」(國見・富田)
- ・神奈川新聞 (平成29年3月30日掲載)「名宰相と時刻む 旧吉田茂邸に麻生氏寄贈」
- ・タウンニュース (平成29年3月31日発行)「旧吉田茂邸 麻生副総理ら再建祝う 一般公開控え記念式典」

<テレビ>

- ・テレビ東京『出没！アド街ック天国（平成28年8月6日放送）』『大磯の紹介～旧吉田茂邸、吉田茂、横穴墓、嶋立庵標石等』（富田）
- ・『ワイド！スクランブル（平成28年8月15日放送）』『太平洋戦争中に作られた地下壕の実態』（富田）
- ・NHK『ETV特集（平成28年秋）』『旧吉田茂邸や4月公開以降の展示資料について』（國見・久保庭）
- ・BS朝日『テイバン・タイムズ（平成28年12月18日放送）』『県立大磯城山公園旧吉田茂邸地区を歩き、吉田茂のエピソードを紹介』（北水）
- ・毎日放送『ちちんぷいぷい（平成29年1月12日放送）』『源重之ゆかりの地を散策しながら歴史的建造物等を紹介』（北水）
- ・NHKニュース（平成29年3月17日放送）『旧吉田茂邸内覧』（國見）
- ・テレビ神奈川『カナフル（平成29年3月26日放送）』『旧吉田茂邸の見学・案内』（久保庭）

<ラジオ>

- ・FM湘南ナパサ（平成28年11月28日放送）『展示リニューアルの内容について』（富田）

■ ホームページを活用した情報発信

<ホームページの充実>

湘南ケーブルネットワークの「easy my web」を利用し、ブログ型コンテンツ「大磯町郷土資料館ノート」で、郷土資料館の活動内容を発信した。3月からは郷土資料館ホームページをリニューアルし、サーバーとともに型式を変更した。

（月別アクセス数）

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	3,170	4,172	2,567	2,173	1,990	4,245
月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
件数	2,629	3,511	2,545	2,680	1,537	31,219

（担当）富田・川邊・高山

■ 刊行物

<図録・冊子>

- ・大磯町郷土資料館リニューアルオープン記念企画展『遺跡からみる近代別荘地の形成と展開』図録
A4判18頁 800部（平成28年11月刊）
- ・旧吉田茂邸落成記念企画展『吉田茂－その生涯と大磯－』図録
A4判40頁 2,000部（平成29年3月刊）
- ・『Report－大磯町郷土資料館だより』37
A4判 8頁 800部（平成28年12月刊）
- ・『年報－平成27年度－』
A4判40頁 400部（平成28年9月刊）

<チラシ・パンフレット>

- ・大磯町郷土資料館リニューアルオープン記念企画展「遺跡からみる近代別荘地の形成と展開」チラシ
A4判両面 2,000部（平成28年10月刊）
- ・大磯町郷土資料館案内パンフレット
A4判両面 10,000部（平成28年11月刊）
- ・大磯町郷土資料館案内パンフレット（英語版）
A4判両面 10,000部（平成28年11月刊）
- ・旧吉田茂邸落成記念企画展『吉田茂－その生涯と大磯－』チラシ
A4判両面 10,000部（平成29年2月刊）
- ・旧吉田茂邸案内パンフレット
A4判両面 10,000部（平成29年3月刊）
- ・旧吉田茂邸案内パンフレット（英語版）
A4判両面 10,000部（平成29年3月刊）

<その他>

- ・講座通信『海の森通信』
A4判2頁 ポー対応（平成28年4,12,平成29年3月刊）
- ・「神奈川県大磯明細全図（複製）」
B2判片面 500部（平成29年2月刊）

■ 調査・研究・普及

<館内外の活動>

- ・博物館資料調査／年間／大磯町内外（國見・北水・富田・久保庭・諏訪部・高山・肥沼・川邊）
- ・神奈川県博物館協会役員会出席／年間／神奈川県立歴史博物館（國見）
- ・駒澤大学博物館学講座講義／年間／駒澤大学（國見）
- ・新採用職員研修会講義／4月20日／大磯町保健センター（國見）
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」出席／4月18日、5月25日、6月21日、7月20日、8月17日、11月16日、1月18日、2月14日／大磯町役場本庁舎、大磯町保健センター（北水）
- ・大磯町立国府小学校4年生自然科学学習「春の自然」指導／4月26日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・大磯町教育研究所「大磯の自然に関する調査・研究部会」野外観察会指導／5月8日、8月29日／大磯町内（北水）
- ・大磯町立大磯小学校3年生総合学習「大磯町の今と昔を調べよう」指導／5月17日／大磯小学校（富田）
- ・大磯町立学校新採用教職員研修会講義／5月17日／郷土資料館（北水）
- ・大磯町立大磯幼稚園「磯遊び」指導／5月23日／照ヶ崎海岸（北水、高山）
- ・大磯町立国府小・中学校生沢分校総合学習「漂着物を使った美術品製作」指導／5月27日／神奈川県立おおいそ学園（北水）
- ・大磯町立大磯小学校3年生総合学習「いっぱい知りたい！大いそ町！」指導／5月31日／大磯小学校（富田）
- ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会総会及び記念講演会出席／6月3日／ミューザ川崎（富田）
- ・神奈川県教育委員会文化遺産課主催平成28年度第2回考古学講座「近代別荘地の形成と展開－神奈川県内の発掘調査等の事例から－」講話／6月25日／かながわ県民センター（國見）
- ・大磯町立国府小学校4年生自然科学学習「夏の自然」指導／7月11日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導／7月25日／大磯小学校～湘南平（北水）
- ・大磯町立国府小学校PTA主催あそび塾「ビーチコーミング・クラフト」指導／7月29日／大磯町立国府小学校（北水・高山）
- ・文明開化期の相武地域史研究会定例研究会出席／4月21日、8月23日、11月2日／平塚市博物館、東海大学湘南校舎、横浜開港資料館（富田）
- ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会運営委員会出席／10月6日、12月15日、2月3日／武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館、国文学研究資料館、東京工業大学大岡山キャンパス（富田）
- ・中地区管内教育研究所・教育センター連絡会講話／10月19日／郷土資料館及び神奈川県立大磯城山公園旧吉田茂邸地区（北水）
- ・大磯町立国府小学校4年生社会科学学習「昔から今へと続くまちづくり」指導／10月20日／郷土資料館（富田・川邊）
- ・二宮町立一色小学校6年生総合学習「一色小学校の樹木の名札つけ」／11月10日／二宮町立一色小学校（北水）
- ・平成28年度歴史民俗資料館等専門職員研修会受講／11月14日～18日／国立歴史民俗博物館（富田）
- ・大磯町立国府小学校4年生自然科学学習「秋の自然」指導／11月18日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・ガールスカウト神奈川県第95団「大磯を知ろう」指導／11月20日／郷土資料館（北水）
- ・大磯町立大磯中学校1年生総合学習「左義長」指導／12月2日／大磯町立大磯中学校（川邊）
- ・煉瓦研究ネットワーク東京主催郷土資料館企画展見学及び展示解説／12月4日／郷土資料館（國見）
- ・神奈川県立歴史博物館主催地域巡回講座「大磯の歴史と文化を辿る」講話／1月19日／郷土資料館（富田）
- ・大磯町立国府中学校1年生職場体験学習指導／1月26日・27日／郷土資料館（北水）
- ・旧横浜ゴム平塚製造所記念館文化講座「発掘調査等に見る別荘地－大磯を中心として－」講話／2月4日／旧横浜ゴム平塚製造所記念館（國見）
- ・中地区社会教育担当者会議講話／2月7日／郷土資料館及び神奈川県立大磯城山公園旧吉田茂邸地区（北水）

- ・大磯町立国府小学校 4 年生自然科学学習「冬の自然」指導／2 月 21 日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・平塚市教育委員会主催平塚市文化財めぐり講話／3 月 4 日／郷土資料館及び神奈川県立大磯城山公園（國見）
- ・二宮史遊会「相模国府」指導／3 月 6 日／大磯町馬場公園一帯（國見）
- ・大磯町立国府小学校 3 年生社会科学学習「昔の暮らし」指導／3 月 7 日／大磯町立国府小学校（川邊、北水）

<施設・展示解説>

- ・個人／11 月 5 日／3 人（北水）
- ・個人／11 月 13 日／2 人（國見）
- ・関東学院大学大越ゼミナール／11 月 27 日／3 人（國見）
- ・個人／11 月 27 日／1 人（國見）
- ・個人／12 月 4 日／1 人（國見）
- ・足柄上郡社会教育委員連絡協議会／12 月 14 日／27 人（北水）
- ・小田原市文化財課／12 月 16 日／1 人（國見）
- ・中地区経営指導員協議会／1 月 26 日／11 人（北水）
- ・日高市高麗郡建郡 1300 年記念事業 大磯ツアー／2 月 12 日／52 人（北水）
- ・ABC 倶楽部／3 月 11 日／15 人（北水）
- ・埼玉県立博物館友の会／3 月 28 日／45 人（富田）

<執筆>

國見 徹

- 2016. 11. 大磯町郷土資料館リニューアルオープン記念企画展「遺跡からみる近代別荘地の形成と展開」図録 大磯町郷土資料館
- 2016. 12. 「常設展示リニューアルにあたって A:考古分野の見所」『Report－大磯町郷土資料館だより』37 大磯町郷土資料館

北水 慶一

- 2016. 12. 「常設展示リニューアルにあたって B:自然分野の見所」『Report－大磯町郷土資料館だより』37 大磯町郷土資料館

富田 三紗子

- 2016. 9. 「博物館資料としての古文書の活用－「用田村伊東宗兵衛家文書の世界」展を開催して」『年報－平成 27 年度－』 大磯町郷土資料館
- 2016. 12. 「常設展示リニューアルにあたって D:歴史分野の見所」『Report－大磯町郷土資料館だより』37 大磯町郷土資料館

久保庭 萌

- 2017. 3. 旧吉田茂邸落成記念企画展『吉田茂－その生涯と大磯－』図録 大磯町郷土資料館

川邊 絢一郎

- 2016. 11. 大磯町郷土資料館リニューアルオープン記念企画展「遺跡からみる近代別荘地の形成と展開」図録（編集） 大磯町郷土資料館
- 2016. 12. 「常設展示リニューアルにあたって C:民俗分野の見所」『Report－大磯町郷土資料館だより』37 大磯町郷土資料館

■博物館資料の収集、整備、利用

<寄贈資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2016-0401	H28. 4. 1	吉田茂肖像写真	1	村本恵子	1203	H28. 12. 9	写真	5	飯田善雄
0425	H28. 4. 1	クワカスカ ^カ ーテン看板	1	添田光雄	1204	H28. 12. 14	ダンス、フトン	一括	石井雅浩
0502	H28. 5. 2	秋田簾摺屏風	1	穂積志摩子	1205	H28. 12. 14	写真・ネガ	1	飯田善雄
0503	H28. 5. 19	浮世絵	1	新見由美子	1206	H28. 12. 15	ディーケー	一対	石井雅浩
0505	H28. 5. 18	高札、古文書他	一括	坂井孝明	1207	H28. 12. 16	出征日章旗	1	加藤とし子
0506	H28. 5. 25	五月人形	一括	小川芳明	0201	H29. 2. 4	漁撈用具	一括	安部川英雄
0507	H28. 5. 31	ハンショウ	1	生沢地区	0202	H29. 2. 7	ピッケル、スキー 他	一括	古瀬恭良
0607	H28. 6. 14	測点標石、掛軸 他	5	坂井孝明	0203	H29. 2. 8	雑誌、写真	一括	和田清治
0702	H28. 7. 2	裏衣香	1	安田健一	0204	H29. 2. 8	写真	1	小原隆一
0705	H28. 7. 29	古新聞、扁額、書籍	3	清水弘子	0205	H29. 2. 12	絵葉書	7	長谷川純子
0801	H28. 8. 4	書幅	1	柴田紳一	0206	H29. 2. 15	キモノ 他	一括	西山縫子
0806	H28. 8. 6	花瓶	1	加藤イト	0207	H29. 2. 14	吉田茂関連資料	3	(株)壺中居 宮島格三
0807	H28. 8. 12	書幅、葉書	3	新井香	0301	H29. 3. 1	書籍、スライド	51	古瀬恭良
0903	H28. 9. 10	城山荘保存部材	一括	安井空工務店	0302	H29. 3. 8	旧吉田茂邸保全署名原簿	一括	関野好一
0904	H28. 9. 14	二宮呉服店通信	1	加藤廣美	0303	H29. 3. 8	豊道春海関係資料	一括	曾田成則
1001	H28. 10. 8	カンテラ	2	大磯漁協	0304	H29. 3. 8	書籍	1	(財)全日本書道連盟
1004	H28. 10. 24	古写真	3	長谷川純子	0305	H29. 3. 10	書籍	1	古瀬恭良
1005	H28. 10. 22	「サルンボ」の作り方	一式	飯田福信	0307	H29. 3. 12	鱒網船模型	1	真壁一生
1101	H28. 11. 3	メンコ	15	富田三紗子	0309	H29. 3. 10	吉田茂関連資料	一括	吉田暁子
1102	H28. 11. 12	トックリ、民俗学辞典	10	鈴木菊え	0310	H29. 3. 15	巻物	1	高橋伸幸
1103	H28. 11. 16	書籍	1	野原孝之	0311	H29. 3. 25	降伏文書〔複製〕	2	新美尚彦
1201	H28. 12. 6	足踏みミシン	1	石井雅浩	0312	H29. 3. 26	置時計	1	麻生太郎

<移管資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2016-0501	H28. 5. 2	島崎藤村関係資料	一括	大磯町総務課	0605	H28. 6. 14	武林敬吉画「町の風景」	1	大磯町総務課
0601	H28. 6. 14	加山又造銅版画「長城」	1	大磯町総務課	0701	H28. 7. 1	藤村いろは歌留多、レコード	12	大磯町産業観光課
0603	H28. 6. 14	生方純一画「気」	1	大磯町総務課	0905	H28. 9. 14	扁額	1	国府幼稚園
0604	H28. 6. 14	武林敬吉画「村」	1	大磯町総務課					

<採集資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2017-0306	H29. 3. 12	的の破片	1	白岩神社	0307	H29. 3. 12	ミゴ	1	六所神社

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2016-0504	H28. 5. 19	ジョサイア・コンドル建築図面	16	京都大学工学研究科 吉田建築系図書室	0809	H28. 8. 18	錦絵	1	福地書店
0703	H28. 7. 2	散華	1	一心堂書店	0810	H28. 8. 18	書簡 葉書	7	泰成堂書店
0808	H28. 8. 18	絵葉書	1	鶴庵					

<寄託資料>

(敬称略、寄託期間：H24. 4. 1 ～ H26. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2016-0402	H28. 4. 1	菊池重三郎 関係資料	一括	個人	0415	H28. 4. 1	屏風 他	一括	南本町区長
0403	H28. 4. 1	書籍	2	個人	0416	H28. 4. 1	雛人形	一括	個人
0404	H28. 4. 1	獅子頭	2	裡道区長	0417	H28. 4. 1	高札	3	個人
0405	H28. 4. 1	子ども会旗・ 七夕資料 他	一括	西小磯西子ど も育成会会長	0418	H28. 4. 1	大久保家 資料	1	個人
0406	H28. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校	0419	H28. 4. 1	脇差	1	個人
0407	H28. 4. 1	稻荷講資料	一括	個人	0420	H28. 4. 1	鈴木芳如 関係資料	10	個人
0408	H28. 4. 1	画幅	1	個人	0421	H28. 4. 1	画幅	2	個人
0409	H28. 4. 1	四季耕作図 他	9	個人	0422	H28. 4. 1	脇差 他	8	個人
0410	H28. 4. 1	木造神像 他	12	高来神社	0423	H28. 4. 1	脇差 他	8	個人
0411	H28. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区長 西小磯東区長	0424	H28. 4. 1	脇差	1	個人
0412	H28. 4. 1	統監帽 他	一括	西小磯東区長	0426	H28. 4. 5	杉戸絵、名 板	一括	(株)溪泉
0413	H28. 4. 1	書幅	1	個人	0610	H28. 6. 29	袖がらみ、 高札	2	個人
0414	H28. 4. 1	扁額、壺	2	国府中学校	1003	H28. 10. 13	国府祭鷺舞 資料	一式	六所神社

<資料の特別利用 (No. 1) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
孫文関係史料 他	一括	撮影 ／調査研究	H28. 4. 17	個人	海水浴 絵はがき	1	撮影 ／放映	H28. 5. 19	NHK 制作局
二宮貞節肖像	1	撮影 ／研究発表	H28. 4. 20	個人	松本順肖像	1	撮影 ／刊行物掲載	H28. 5. 27	KK ベストセラーズ
御朱印差出ニ付 本紙之写	1	撮影 ／刊行物掲載	H28. 4. 27	埼玉県立歴史と 民俗の博物館	用田村伊東宗兵衛 家文書	21	撮影 ／複写物作成	H28. 6. 8	藤沢市文書館
松本順肖像写真 他	6	撮影 ／放映	H28. 5. 2	株式会社 FAT TRUNK	絵図「禰龍館 繁栄図」	1	データ利用 ／刊行物掲載	H28. 6. 17	0470
絵図「禰龍館繁栄図」	1	模造 ／展示使用	H28. 5. 3	個人	リュウグウマチの 木遣 (音声)	1	複製 ／イベント利用	H28. 6. 20	個人

<資料の特別利用 (No. 2) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
絵はがき	23	撮影 ／放映	H28. 6. 20	㈱ハウフルス	絵はがき	1	複写 ／研究発表	H29. 2. 1	浜岳郷土史会
絵はがき	1	撮影 ／刊行物掲載	H28. 6. 22	浜岳郷土史会	旧吉田茂邸	1	データ利用 ／掲載	H29. 2. 9	公益社団法人 大磯町観光協会
露柱庵春鴻 四季 他	2	撮影 ／刊行物掲載	H28. 6. 23	個人	清水崑氏作画 吉田茂肖像	1	撮影 ／刊行物掲載	H29. 2. 10	神奈川県庁 政策局知事室
絵はがき	1	撮影 ／刊行物掲載	H28. 7. 13	個人	旧吉田茂邸 パース図	1	新聞に掲載	H29. 2. 18	㈱日本ファミリー 旅行
槍先型尖頭器	1	撮影 ／刊行物掲載	H28. 7. 15	個人	深鉢 他	17	撮影 ／個人的趣味	H29. 2. 19	個人
絵図「禰龍館繁栄図」 他	4	撮影 ／調査研究	H28. 7. 19	AbemaTV『原宿 Abema news』	旧吉田茂邸	1	模写 ／刊行物掲載	H29. 2. 20	㈱ポケカル
大磯海水浴 富士遠景図 他	6	撮影 ／放映	H28. 7. 20	㈱オフィスぼくら	大磯のすまい	一括	複写 ／参考資料	H29. 2. 20	個人
馬場台遺跡出土 陶磁器・土器 他	2	模写・撮影 ／研究発表	H28. 7. 23	個人	常設展示風景	3	撮影 ／個人的趣味	H29. 2. 21	個人
大磯海水浴 富士遠景図 他	4	撮影 ／放映	H28. 8. 30	フラジャイル	常設展示風景 他	2	撮影 ／個人的趣味	H29. 2. 22	個人
歌川広重錦絵 他	16	撮影 ／動画公開	H28. 9. 8	大磯町政策総務部 政策課	相模の国府 他	6	撮影 ／レポート作成	H29. 2. 23	個人
下田横穴第5号穴 出土鏡	1	複写 刊行物掲載	H28. 9. 27	川崎市市民ミュー ジウム	旧吉田茂邸	1	データ利用 ／刊行物掲載	H29. 2. 24	㈱毎日企画サービス、 毎日新聞旅行
旧吉田茂邸外観	4	撮影 ／刊行物掲載	H28. 10. 13	㈱湘南リビング新 聞社	平塚海岸の網引	1	複写 ／刊行物掲載	H29. 2. 28	浜岳郷土史会
嶋立沢標石	1	撮影 ／新聞記事作成	H28. 11. 3	朝日新聞湘南支局	絵はがき	55	撮影 ／ウェブサイト掲載	H29. 2. 28	公益社団法人 大磯町観光協会
常設展示室	75	撮影 ／資料として保存	H28. 11. 8	公益社団法人 大磯町観光協会	建物模型	3	撮影 ／参考資料	H29. 3. 3	個人
常設展示室	一括	撮影 ／参考資料	H28. 11. 11	個人	常設展示	1	撮影 ／放映	H29. 3. 3	㈱コスモスペース
御大名衆帳 他	一括	撮影 ／学習利用	H28. 11. 12	古文書解読クラブ	鳥類剥製	45	撮影 ／個人的趣味	H29. 3. 5	個人
旧三井家別邸	1	模写 ／刊行物掲載	H28. 12. 7	平塚市教育委員会	絵図「禰龍館繁栄 図」	1	刊行物掲載	H29. 3. 10	公益財団法人 堺都市政策研究所
東海道五十三次 の内 大磯	1	電子データ ／刊行物掲載	H28. 12. 13	KENEC	旧吉田茂邸	11	撮影 ／刊行物掲載	H29. 3. 10	㈱財界研究所
島崎藤村肖像	1	撮影 ／複製	H28. 12. 15	大磯町政策総務部 政策課	吉田茂関係資料 他	一括	撮影 ／個人的趣味	H29. 3. 11	個人
写真集『城山荘』	14	撮影 ／複製	H28. 12. 21	神奈川県平塚土木 事務所長	旧吉田茂邸	一括	データ利用 ／資料作成	H29. 3. 13	神奈川県県土整 備局建築住宅部
常設展示	一括	撮影	H28. 12. 24	個人	旧吉田茂邸	1	撮影 ／広報掲載	H29. 3. 14	クラブツーリズム (株)
島崎藤村肖像	1	撮影 ／複製	H28. 12. 27	大磯町政策総務部 政策課	旧吉田茂邸	1	撮影 ／刊行物掲載	H29. 3. 16	㈱交通新聞社
海水着姿での記念写 真	1	撮影 ／掲載	H29. 1. 6	㈱ベネッセコーポ レーション	左義長 写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H29. 3. 16	神奈川県政策局 政策部総合政策課
高麗山(昭和30年頃 の写真)	1	撮影 ／研究発表	H29. 1. 12	平岡幼稚園	清水崑氏作画 吉田茂肖像	1	撮影 ／ウェブサイト掲載	H29. 3. 22	神奈川県庁 政策局知事室
旧吉田茂邸	3	模写・データ借用 ／刊行物掲載	H29. 1. 19	個人	旧吉田茂邸	5	撮影	H29. 3. 23	テレビ神奈川 制作部
縄文土器	20	撮影 ／参考資料	H29. 1. 21	個人	旧吉田茂邸	一括	模写 ／放映	H29. 3. 27	㈱フジテレビ ジョン
常設展示	一括	撮影 ／個人的趣味	H29. 1. 27	個人	松本順肖像	1	複製	H29. 3. 28	(有)書籍工房 早山
旧吉田茂邸	3	借用 ／掲載	H29. 1. 29	「ノジュール」記者	旧吉田茂邸	4	刊行物掲載	H29. 3. 30	産経新聞 横浜総局

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
試掘確認調査遺物	一括	発掘調査報告書作成	H28. 4. 1 ~H29. 3. 31	吾妻考古学研究所	The Japanese House	1	フィルムアーカイブ調査	H28. 9. 6 ~10. 6	(株)IMAGICA イメージワークス
葉巻入れ 他	3	特別展展示	H28. 4. 20 ~6. 10	杉並区役所 生涯学習推進課	堂後下横穴墓 群出土鉄鏃等	15	資料保存処理 委託	H28. 9. 6 ~H29. 1. 27	東都文化財保存 研究所
ハコメガネ 他	6	授業	H28. 5. 4 ~5. 14	個人	ウナイグワ 他	1	授業	H28. 9. 9 ~9. 16	個人
写真集『城山荘』 他	4	展示資料	H28. 5. 16 ~5. 31	(株)丹青社	中丸のセートバラ イ	3	中丸地区記録 として保管	H28. 10. 12 ~10. 25	個人
用田村伊藤宗兵衛家 文書	21	複写物の作成	H28. 6. 20 ~7. 29	藤沢市文書館	海水浴場開設 五十年ポスター	1	修理委託	H28. 10. 12 ~12. 20	(有)紙資料 修復工房
相模国鶏足山高麗寺 略録記	1	特別展展示・ 刊行物使用	H28. 6. 20 ~9. 16	埼玉県立歴史と 民俗の博物館	高麗寺祭山神輿 他	2	行事での放映	H28. 10. 16 ~11. 10	個人
随神(箱入) 他	5	祭事	H28. 7. 14 ~7. 22	個人	槍先型尖頭器(黒 岩出土)	1	企画展展示	H28. 11. 15 ~H29. 1. 18	神奈川県教育 委員会
獅子頭	2	祭事	H28. 7. 16 ~7. 19	個人	アルバム	1	祭事	H29. 1. 24 ~2. 12	個人
女神立像(その3)	1	保存処理	H28. 8. 10 ~H29. 3. 17	光園美術研究所	シメ 他	8	小学校授業	H29. 2. 21	大磯町郷土 資料館職員
生人形 安本亀八初 代 松本順像	1	特別展展示	H28. 8. 16 ~12. 15	国立民族学博物館	脇差し・掛軸・ 銅像 他	3	祭事	H29. 3. 4 ~3. 5	白岩神社

<備品等の貸出>

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
長テーブル、 椅子	1 10	スポーツ 行事	H28. 10. 15	大磯太極拳とセラバド サークル連絡会	スクリーン 椅子 他	一括	講演会	H29. 1. 20 ~1. 22	大磯町 環境課
額	3	展示物掲載	H28. 11. 30 ~12. 19	大磯町 政策課	プロジェクタ ー	1	研修会	H29. 2. 22	神奈川県教育委 員会

■文献資料収集状況

<寄贈機関・関係団体リスト一覧>

《県内》

[大磯町] エリザベス・サンダース・ホーム、澤田美喜記念館、嶋立庵

[茅ヶ崎市] 康心会、茅ヶ崎市教育委員会、柳島いま・むかし会

[秦野市] 野生動物救護の会

[藤沢市] 日本大学生物資源科学部博物館、藤沢市教育委員会、藤沢市藤澤浮世絵館、藤沢市文書館

[平塚市] 東海大学附属図書館、浜岳郷土誌会、平岡学園平岡幼稚園、平塚市博物館

[寒川町] 寒川文書館

[小田原市] 小田原市教育委員会、小田原市郷土文化館、小田原市立図書館、小田原城天守閣、神奈川県立生命の星・地球博物館、報徳博物館

[大井町] 大井町教育委員会

- [山北町] 山北町地方史研究会
- [横浜市] アーク・フィールドワークシステム、岩崎博物館、かながわ考古学財団、神奈川県教育委員会、神奈川県庁、神奈川県博物館協会、神奈川県民俗芸能保存協会、神奈川県立金沢文庫、神奈川県立公文書館、神奈川県立図書館、神奈川県立歴史博物館、神奈川県新聞社、神奈川県文学振興会、国際協力機構横浜国際センター海外移住資料館、三溪園保勝会、水産総合研究センター、玉川文化財研究所、日本赤十字社神奈川支社、日本郵船歴史博物館、横浜開港資料館、横浜市教育委員会、横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター、横浜市三殿台考古館、横浜市歴史博物館、横浜植物会、横浜都市発展記念館
- [川崎市] 川崎市市民ミュージアム、川崎市立日本民家園、川崎・砂子の里資料館、下麻生古墳群発掘調査団、専修大学
- [鎌倉市] 鎌倉考古学研究所、鎌倉市教育委員会、鎌倉文化研究会、斉藤建設、鶴岡八幡宮社務所
- [横須賀市] 横須賀市教育委員会、横須賀市自然・人文博物館、横須賀美術館
- [逗子市] 逗子市教育委員会
- [葉山町] 葉山しおさい博物館
- [三浦市] 三浦市教育委員会
- [厚木市] 厚木市教育委員会、県央史談会
- [相模原市] 相模の蝶を語る会、相模原市教育委員会、相模原市立博物館
- [清川村] 丹沢自然保護協会
- 《県外》
- [茨城県] かすみがうら市郷土資料館
- [埼玉県] 春日部市教育委員会、上里町教育委員会、上里町立郷土資料館、高麗神社社務所、埼玉県立川の博物館、埼玉県立歴史と民俗の博物館、杉戸町教育委員会、税務大学校税務情報センター租税史料室、飯能市郷土館、富士見市立難波田城資料館、三芳町教育委員会
- [千葉県] 伊能忠敬記念館、国立歴史民俗博物館、市立市川歴史博物館、館山市立博物館、千葉市立加曽利貝塚博物館、千葉県立中央博物館、船橋市郷土資料館、船橋市飛ノ台史跡公園博物館、松戸市立博物館
- [東京都] 吾妻考古学研究所、イソビク東京営業所、板橋区教育委員会、板橋区立郷土資料館、NHK 放送博物館、大田区立郷土博物館、お札と切手の博物館、お茶の水女子大学、外務省外交史料館、学習院大学、駒澤大学禅文化歴史博物館、慶應義塾大学、国際文化財、国書刊行会、国立科学博物館、品川区立品川歴史館、衆議院憲政記念館、昭和館、瑞雲書道会、杉並区役所、杉並区立郷土博物館、全日本書道連盟、多摩市文化振興財団パルテノン多摩、台東区立下町風俗資料館、玉川大学、玉川大学教育博物館、中央

大学、調布市郷土博物館、帝国地図、東京家政学院生活文化博物館、東京家政大学博物館、東京書籍、東京都江戸東京博物館、東京堂、豊島区立郷土資料館、豊島区立雑司が谷旧宣教師館、虎ノ門・六本木地区市街地再開発組合、日本書道連盟、練馬区立石神井公園ふるさと文化館、野村不動産、日野市役所、日野市立新選組のふるさと歴史館、府中市郷土の森博物館、舞踏藝術社、文化庁、文部科学省、勉誠出版、法政大学、町田市教育委員会、三井文庫三井記念美術館、港区教育委員会、港区立港郷土資料館、明治大学、靖国神社社務所、立正大学博物館

- [静岡県] 伊豆の国市役所、伊東市役所、静岡県立美術館、静岡市立登呂博物館、沼津市歴史民俗資料館
- [愛知県] 安城市教育委員会生涯学習部、安城市歴史博物館、豊橋市二川宿本陣資料館、豊橋市美術博物館
- [山梨県] 環境省自然環境局生物多様性センター、南アルプス市教育委員会
- [長野県] 茅野市教育委員会
- [新潟県] 十日町市教育委員会、十日町市博物館、新潟市文化スポーツ部歴史文化課
- [岐阜県] 藤村記念館
- [三重県] 鈴鹿市考古博物館
- [和歌山県] 和歌山県立自然博物館
- [奈良県] 奈良国立博物館、奈良文化財研究所埋蔵文化財センター
- [滋賀県] 草津宿街道資料館
- [京都府] 向日市文化資料館
- [大阪府] 大阪市立自然史博物館、国立民族学博物館、堺市政策研究所、富田林市教育委員
- [兵庫県] 尼崎市役所、たつの市立龍野歴史文化資料館、人と防災未来センター
- [岡山県] 岡山市福祉支援課 岡山空襲展示室
- [高知県] 高知県牧野記念財団
- [岩手県] 奥州市牛の博物館、津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会
- [青森県] 青森県立郷土館
- [北海道] 帯広百年記念館

旧吉田茂邸再建事業

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／(株)郵生
- ・警備委託／(株)全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／(株)日立ビルシステム 横浜支社
- ・消防用設備保守委託／モリタ宮田工業(株)

<施設整備>

- ・加入電話新設工事／東日本電信電話(株) ビジネス&オフィス営業推進本部
- ・電話設備設置工事／東陽工業(株)
- ・フレッツ光ネクスト回線設置工事／東日本電信電話(株) 神奈川営業所
- ・ネットワーク接続工事／(株)NEC フィールドインテグ
- ・機械警備設置工事／(株)全日警 横浜支社
- ・防犯カメラ増設工事／(株)望月電気工事
- ・無垢床塗装工事／山岸塗装(株)

■ 博物館資料の整備

<模型製作委託>

調度品製作委託(その1)

業務内容／平成21年3月に焼失した旧吉田茂邸の再建に伴い、邸内に展示する調度品を製作する。製作する調度品は、吉田茂が実際に使用していた愛用品の雰囲気を再現するものであり、旧吉田茂邸の見学者が吉田茂の生活空間と交流空間を体験するのにふさわしいものを製作する。

製作物	(1)竹内綱書	1点	④風呂栓	1式
	(2)伊藤博文書	1点	(6)水周り器具(新館2階浴槽)	
	(3)籐ソファセット		① シャワーヘッド	1式
	① 3人掛けソファ	1点	② 給水栓	4点
	② 1人掛けソファ	3点	③ レバー給水栓	1点
	③ テーブル(大)	1点	④ シャワー器具	2点
	④ テーブル(小)	1点	⑤ 蛇口水栓	2点
	(4)杖	1点	⑥ 蛇口浴槽部	1点
	(5)水周り器具(応接間棟2階浴槽)		(7)ダブルベッド	1点
	① シャワーヘッド	1点	(8)食堂用テーブル	1点
	② 給水栓	4点	(9)食堂用椅子	12点
	③ 蛇口	1点	(10)衝立	1点

契約期間／平成28年8月2日～平成29年2月28日

請負者／(株)丹青社

調度品製作委託(その2)

業務内容／平成21年3月に焼失した旧吉田茂邸の再建に伴い、邸内に展示する調度品を製作し、「決断の場」を創出する。製作する調度品は、吉田茂が実際に使用していた愛用品の雰囲気を再現するものであり、吉田茂邸の見学者が吉田茂の生活空間と交流空間を体験するのにふさわしいものを製作する。

製作物	(1)ソファセット		(2)官邸直通電話機	1点
	① 3人掛けソファ	1点		
	② 1人掛けソファ	3点		
	③ クッション	5点		

契約期間／平成28年8月2日～平成29年2月28日

請負者／(株)ダニエル

旧吉田茂邸パネル・サイン製作委託

業務内容／平成21年3月に焼失した旧吉田茂邸の再建に伴い、邸内に展示する調度品を製作し、「決断の場」を創出する。製作する調度品は、吉田茂が実際に使用していた愛用品の雰囲気を再現するものであり、吉田茂邸の見学者が吉田茂の生活空間と交流空間を体験するのにふさわしいものを製作する。

製作物／(1)利用案内パネル 1点 (3)サインスタンド 3点
(2)解説パネル 6点

契約期間／平成28年11月2日～平成29年2月28日

請負者／(株)東京インテリア・クラフト

■ 旧吉田茂邸落成記念事業

旧吉田茂邸落成記念式典

日 時／平成29年3月26日(日)

〔第1部〕旧吉田茂邸落成記念式典 午前10時～11時

〔第2部〕旧吉田茂邸内覧会 午前11時～午後3時

会 場／〔第1部〕旧吉田茂邸落成記念式典

大磯プリンスホテル国際会議場 メインバンケットホール

〔第2部〕旧吉田茂邸内覧会

神奈川県立大磯城山公園 旧吉田茂邸地区

来場者数／309人

趣 旨／旧吉田茂邸は、平成21年3月22日に焼失した後、大磯町と神奈川県で再建に向けて積極的な活動を展開してきた。再建にあたって大磯町では「旧吉田茂邸再建基金」を設置して、日本全国の多くの方々から貴重な浄財をいただいた。

この貴重な浄財を基に、国からの財政支援も受け、旧吉田茂邸の再建計画は順調に進み、平成24年度に基本設計、平成25年度に実施設計を行い、平成26年12月に工事を着工し、平成28年5月に完成に至った。

戦後政治史の大きな舞台となった旧吉田茂邸の完成に至る過程において、ご尽力、ご寄附いただいた方々をはじめ、多くのご協力をいただいた方々に対し、旧吉田茂邸の完成を報告するとともに、謝意を表す機会とするため、落成記念式典を開催した。

内 容／〔第1部〕旧吉田茂邸落成記念式典

1. 開会（再建経過説明）
2. 開式・御礼の言葉
3. 来賓祝辞
4. 祝電披露
5. テープカット
6. 来賓紹介
7. 合唱「ふるさと」
8. 閉式・御礼の言葉
9. 閉会

〔第2部〕旧吉田茂邸内覧会

再建状況並び各室の特徴を解説

寄附者・協力者内覧会

期 間／平成29年3月27日(月)～3月31日(金)

場 所／旧吉田茂邸

観覧者数／496人

内 容／旧吉田茂邸の完成に至る過程において、ご寄附、ご協力いただいた方々に対して、謝意を表す機会として、内覧会を開催した。

研究報告

小規模博物館の常設展示リニューアルに携わって

* 富田 三紗子

はじめに

筆者は現在、大磯町郷土資料館に歴史担当の学芸員として勤務している。大磯町郷土資料館（以下、必要に応じて当館又は郷土資料館と表記する。）は、大磯町立の登録博物館であり、考古、歴史、民俗、自然等の資料を収集、保管、展示、調査研究を行う、いわゆる地域博物館である。昭和63（1988）年10月25日に県立大磯城山公園内に開館してから28年が経過した昨年平成28（2016）年11月3日、常設展示をリニューアルし新たに開館した。財政難を理由として常設展示のリニューアルがなかなか進まない地方自治体立の博物館施設が多い中、常勤学芸員3人（平成25年度、実施設計策定前時点）、予算規模約4,500万円、運営母体となる町自体も予算規模約90億円という小規模な組織においてリニューアルを実現できたことは、稀有な事例と言えるだろう。

もちろん、当館のリニューアル事業は、決して順風満帆の中進められたものではない。種々の要因が絡み合い、紆余曲折を経て実現し、その経緯と実施内容には多くの課題が見られる。本稿では、小規模博物館のリニューアル事業の事例として、当館のリニューアル事業の経緯、内容、効果と課題をまとめる。なお、筆者が歴史担当の学芸員として当事業に関与したため、報告の中心は歴史分野に依るものとなる。また、筆者自身、在職4年目にして当事業に携わった都合上、一職員としての視点からしかまとめることができない。そして、本稿の見解は全て筆者個人の見解によるものであり、当館の組織的な見解を示すものではない。

1. 経緯

当館においては、一度、常設展示のリニューアルについて、開館10年後にあたる平成10年度に大幅な展示替工事を実施することが検討された。この事業は、町の総合計画に明記された事業であり、平成7年度予算に基本構想策定委託事業が組まれた。平成8年度に基本構想及び基本設計、平成9年度に実施設計、平成10年度に実施工事で進める計画であったが、執行途中に財政事情の理由から事業が中止となった。

その後、平成18年度、平成20年度と常設展示室において部分的な展示替えを行ったが、大型展示資料の更新を行わなかったため、来館者には展示替えの印象がうまく伝わらなかった。平成20年度には、教育委員会各部署等重点目標として「郷土資料館リニューアルオープン」の策定が掲げられ、郷土資料館の活動における課題の抽出と、リニューアルに向けた指針をまとめた報告書が作成された。この報告書を基底として、平

（* 当館学芸員）

成22年度に「展示リニューアル基本構想報告書」及び「基本設計報告書」を作成したが、平成23年度に実施設計へ進むというところで、諸事情により実施設計委託を予算化することができなかった。

筆者はこのタイミングで現職に着任した。採用面接時に展示リニューアルに向けて事業が進められていることを聞かされたが、任用された段階では予算化されなかったことを聞かされ、凍結されてしまった基本設計報告書を受け取った。その後、この報告書を顧みることが、残念ながら業務の中ではあまりなかった。筆者としても今後の町の財政事情を鑑みれば、事業の継続自体が難しいことは容易に想像できた。また、新人学芸員として職務にあたる中、日々、目の前の様々な仕事をこなすことで精一杯であり、常設展示のリニューアルを検討するまでには至らなかったこともある。当館の常設展示室は、特別な展示具を使っているものもあったが、基本的にリニューアル前から展示替えを比較的容易に行うことができるような作りになっており、着任後、しばしば部分的に展示替えを行った。開館以来、初めての歴史担当学芸員として採用された筆者にとっては、大規模な展示リニューアルよりも、むしろ収蔵庫内に膨大に収納された歴史資料の整理を行うことの方が重要なのではないかと考え、企画展にも十分な予算がない中、なるべく館蔵資料を公開すべきと、資料整理の成果を展示や教育普及事業につなげる企画に重点を置いていた。

とは言え、開館から20年が経過した当時、常設展示の内容を更新する必要があったことも事実である。当館としては、平成24年度以降も実施設計委託の予算要求を継続し、私的にでも他の博物館施設の常設展示を見学すれば、その内容や良い点などを報告し、館職員内で情報を共有していた。また、平成25年度には、基本設計を凍結させたままにしてはいけないという考えから、館内検討会議として、基本設計の内容確認から始めて、具体的に展示内容を検討し始めた。

状況が大きく変わった背景には、具体的に旧吉田茂邸再建事業が動き出したことにある。旧吉田茂邸は、神奈川県や大磯町が建物の保存と活用を検討している最中、平成21年3月22日に原因不明の火災によって焼失した。町では同年7月に再建に向けた募金活動を開始し、全国から寄附をいただいていたが、再建に必要な金額を集めるまでには至っていなかった。平成23年7月、当時の財団法人吉田茂国際基金が解散するにあたって、当法人から残余財産が寄附され、ようやく旧吉田茂邸再建の目途がたった。旧吉田茂邸は、郷土資料館が立地する県立大磯城山公園と国道一号線を挟んで反対側にあり、公園を拡大するかたちで整備が進められていた。再建し、一般公開する際には、郷土資料館の別館として一体運営することが見込まれていた。

来館者の増加が見込まれるこの事業に応じるかたちで、郷土資料館のリニューアルを進めることが検討され、平成26年度に町の総合計画の実施計画の重点プロジェクトとして、地域資源を活かした観光推進プロジェクトの新規事業となった。その具体的な内容は、平成26年度にリニューアル実施設計、監理委託、資料整備委託、資料整理を行い、平成27年度にリニューアル実施工事、監理委託を行うというものであり、1億382万5,000円が事業費として見込まれた。

平成26年度から具体的に予算化されたことにより、実施設計の委託業者と具体的な打ち合わせを行うことができるようになった。前年度から検討会議を行ってはいたが、基本設計を策定してから実に3年が経過しており、その間に職員も変わり、町の状況も変化していた。具体的な内容は後述するが、基本設計で一度事業が凍結すると、実施設計を策定する段階で検討すべきことが増え、結果として無駄が多かったように感じている。事業の見直しによる途中で中止は、デメリットの方が多いのではないかと。

当館のリニューアル事業は、このように二度の中止を経て成し遂げられた。実現には、当時の社会情勢に依るところが大きく、決して現場からコントロールできるものではなかった。リニューアル事業を大々的に行うのであれば、当然、莫大な費用がかかることは覚悟し、いかに時流にのせて予算を獲得するのが肝要になる。

2. 内容

ようやく実施することができた今回のリニューアルでは、約半年間を臨時休館として、常設展示室のみならず、エントランスホール、展示ホール、廻廊、中庭、

トイレの改修も行った。当館の展示リニューアルについては、単なる展示資料の更新だけでなく、施設を幅広く活用できるように改修することも視野に含めていた。そのため、中庭の改修を行い、休憩スペースとして整備することによって、来館者から多くの要望があった食事場所の確保に努めた。また、エントランスホールを常設展示の導入部分と捉え、展示ホールから常設展示室へ、さらに常設展示のエピローグとして廻廊を整備した。廻廊は、貸出ギャラリーとしての機能も兼ねている(図1)。

常設展示の展示テーマをリニューアル前後で比較すると、次の表1の通りである。リニューアル後の展示テーマは、当館が扱う四つの学問分野を明確に分けたかたちで、大項目を設定した。それぞれに、大磯の特性を表す主題を設け、さらに中項目を設定することに

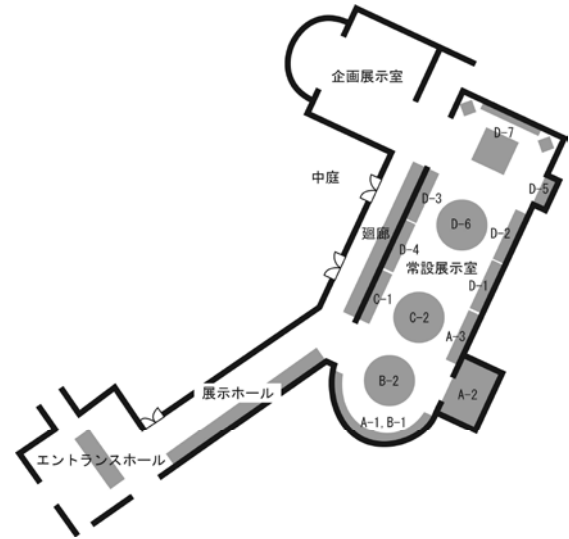


図1 大磯町郷土資料館配置図

表1 大磯町郷土資料館常設展示テーマ

リニューアル前	
エントランスホール	第2のふるさとを求めて
展示ホール	詩歌・文学にみる大磯の景観
I 生活の芽生えと定住文化	竪穴住居
	縄文土器
	弥生土器
	土師器
	須恵器
	横穴墓
II 文化の交流と道の変遷	相模国府
	街道と宿場
III 伝承・民話のこころ	海水浴場と別荘
	民話のオブジェ
IV 豊かな風土と自然	大磯町の野鳥
	丘陵の恵み 黒潮の恵み
	豊作・豊漁への願い
V 歴史が語る品々	テーマ展示
VI 海洋文化と民俗	祭り船
	禰龍館繁栄の図
廻廊	大磯の先駆者たち

リニューアル後	
エントランスホール	城山荘保存部材の展示
展示ホール	プロローグ：大磯の風土とかたち
A: いにしえの暮らし	A-1: 器の変遷
	A-2: 横穴墓
	A-3: 相模の国府
B: 自然のいとなみ	B-1: 大磯丘陵の動植物
	B-2: 大磯海岸の生物
C: 祭りがつなぐ心	C-1: 祈りのかたち
	C-2: 海に願う祭り・大地に託す祭り
D: 憧憬の地	D-1: 大磯の寺と神社
	D-2: 東海道大磯宿
	D-3: 大磯海水浴場
	D-4: 文学と大磯
	D-5: 近代の象徴・煉瓦
	D-6: ゆかりのある人々
	D-7: 別荘文化
廻廊	エピローグ：湘南の丘陵と海を訪ねて

より、より展示内容が明確になったと思う。

エントランスホールでは、当館の外観のモチーフともなり、設置場所の象徴とも言える三井家の別邸城山荘で実際に使われていた部材を再現展示した。この部材は、今回の展示リニューアルに伴い調査を進めた結果、城山荘の解体に関わった京都の工務店に保存されていることがわかり、交渉の上、部材をご寄贈いただき、展示させていただくことになった。来館してすぐに城山荘の展示が目に入ることから、立地場所の来歴を来館者に深く印象付けることができているだろう。リニューアル前は城山荘の軸組模型を展示していたが、展示の印象も大きく変えることができた（写真1）。

続く展示ホールでは、大磯の景観を詠んだ詩歌のレリーフと縄文土器を敢えて同じ場所に展示している。詩歌のレリーフは、リニューアル前から設置していたものである。展示ホールの壁面を大規模に改修することは、費用面から不可能であり、そのまま展示することになったが、そのままであればリニューアルした印象がなくなる。そこで、縄文土器の文様が自然の景観を活かして考案されたことを意識して、「風土」という括りで同時に紹介することにした（写真2）。

以下、常設展示内を分野ごとに紹介する。考古分野にあたる「いにしへの暮らし」は、時代ごとに考古分野のトピックとなるテーマで資料を展示している。まず、展示ホールから続いて、「器の変遷」として時代順に器を展示している。時代順に展示することによって、縄文土器と須恵器が町内で多く出土してきたことがよくわかり、地域の特徴を示していると言えるだろう。

考古分野のトピックとしては横穴墓と相模国府は外せない。横穴墓はリニューアル前と変わらず復元模型で紹介しているが、今回のリニューアルではより再現性を高めるために、礫床の礫を実際の横穴墓で用いられていた礫に入れ替えた。また、復元模型の手前に横穴墓の副葬品と考えられる須恵器の大甕を展示している。この資料は、今回のリニューアル事業において、完形復元修復を施した。相模国府についても、新たな



写真1 リニューアル後のエントランスホール

見解を踏まえた解説パネルを設置し、リニューアル前とは内容を改めた。テーマ設定に大きな変更はないとは言え、随所に研究成果を反映させた展示となっている。なお、考古分野で大きく変化した点は、竪穴住居の復元模型を撤去したことにある。大きい造作物がなくなったことによって、展示の雰囲気は大きく変わっただろう。

自然分野は、考古分野に隣接するかたちで配置した。大磯の地形的特性から、丘陵部と海の二つに大きく分けて、生物標本を展示している。地域で見られる動植物が一目でわかる展示になっている。また、貝と海藻の標本をタイドプールと岩礁をイメージした特設の展示台に設置し、鳥類の標本も町内でよく見られるタブノキを樹形オブジェとして動的に配置するなど（写真3）、展示形態を工夫した。特にタイドプールの展示台は、海の深さを表した写真を背景として下から照明を当てており、見た目の美しさが来館者から好評である



写真2 展示ホールの展示



写真3 樹形オブジェと鳥類標本の展示

(写真4)。

民俗分野では、町内に指定文化財となっている祭礼が多いことから、「祈り」を一つのテーマとして取り上げている。指定文化財となっている祭礼と対比させ、町内の地形的特性ともなっている丘陵部と海沿いに暮らした人々の信仰として、農業と漁業に関する神に関する資料を紹介している。具体的には、町内に見られる神棚、エビス・ダイコクなどの像、絵馬、船の飾りなどを展示資料としている。

祭礼については、祭事に使われる面などの道具を紹介するほか、映像や写真をダイジェストとして組み合わせ、指定文化財となっている六つの行事を映像で紹介することにした。祭事の一連の流れを展示で紹介することは難しいが、当館の展示では映像を利用することによって工夫した(写真5)。

最後に歴史分野について紹介する。展示では歴史分野を相模国府の時代以降としたため、鎌倉時代以降の町内の歴史を紹介し、関連の資料を展示することに努めた。今回のリニューアルでは基本設計の段階では通史展示を主軸とすることになっていたが、施設改修も含めた展示替えを行うことが現実的ではなかったため、最終的には歴史分野もテーマ展示で紹介することになった。町内の歴史はそれぞれの時代に地域の特性を示すトピックがあるため、どのテーマを取り上げるのかを検討する必要があった。展示資料との兼ね合いも大きい。歴史叙述を考えた際、やはり時代的な流れがないと来館者に町内の歴史を伝えることは難しいと考えたため、必ずしも資料が豊富ではないテーマも設定した。分野のテーマを「憧憬の地」としたが、これはいつの時代もこの地域が人々の憧れとなっていた、その背景には豊かな自然があったという意味を込めている。

中項目のテーマを逐一紹介していると紙幅を割いてしまうため、要点のみを詳述する。今回、歴史分野の展示で工夫した点は、展示と保存の観点、資料が存在しないテーマの展示、今後の展示替えへの配慮の三点

である。他の博物館施設を訪れた際、いつも気になることが常設展示に供することによる資料保存の難しさである。特に、歴史分野の展示資料には古文書などの恒久的に展示することが好ましくない資料が多く含まれる。比較的、財政面や人材が充足している博物館施設では、複製を作成するなど、展示資料に配慮がなされていて、展示テーマにおいて紹介したい重要な資料が常に見学できるようになっている。一方で、財政面や人材を確保することが厳しい施設では、無配慮に古文書などの紙資料が長期間展示されている様子が見えがえる。残念ながら、当館もリニューアル前は後者に近い展示をしていたため、この点は何とかして改めたいと考えた。しかしながら、今回のリニューアル事業の予算では、複製品を作成する費用までは含まれていない。今回のリニューアルでできたことは、恒久的に展示することが難しい資料は写真パネルにすることと、展示替えがしやすい展示ケースや演示具を作成することであった。後者は冒頭に述べた工夫の三番目にあたる展示替えへの配慮にもつながる。

展示テーマの内、「大磯の寺と神社」、「東海道大磯宿」、「文学と大磯」、「ゆかりのある人々」では、特に木造の神像や、紙資料を展示することを想定していた。そのため、それぞれに展示替えの計画を立て、どのような資料を展示しても構わないような展示ケースにするなど、リニューアル工事から意識して業者と交渉した。「ゆかりのある人々」は、現在、伊藤博文、松本順、吉田茂を取り上げ、各人物に一つの特注の展示ケースを作成したが、伊藤博文の展示ケースのみ展示する資料を想定して展示ケースの幅を大きくした(写真6)。また、「文学と大磯」の展示ケースは、展示台の高さを必要に応じて変えられるよう、展示台を組み合わせ高さを変えられるように工夫した(写真7)。

テーマの中には実物資料(一次資料)が乏しくても、紹介しないと町内の歴史が語れないものが含まれている。「大磯の寺と神社」、「別荘文化」は苦慮したテーマであった。寺と神社については、町内の寺社が所有し

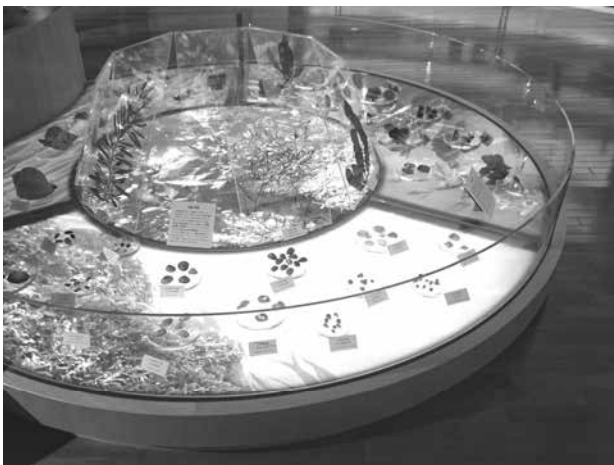


写真4 貝と海藻標本の展示



写真5 民俗分野の展示

ている仏像や神像の写真を、許可を得て写真パネルにして紹介することによって対応している。別荘については、大磯のトピックではありながらも、実物資料を展示することは不可能であるため、設計図や解体前に詳細な調査を行った別荘を2点取り上げて、模型にして紹介することにした（写真8）。限られた予算の中、この模型の製作には予算を割く必要があった。リニューアル前は、別荘の有り様を紹介することが難しい展示であったが、模型を展示することによってわずかながら別荘文化を強調することができたように思う。このように実物資料が乏しい場合は、どうしても複製資料（二次資料）を作成しなければならない。歴史分野は特に、複製資料の作成が求められる。限られた予算の中でどこまで複製を作成できるか、取捨選択を迫られた。

最後に、展示替えを考慮した展示の工夫である。この考え方には先述した保存の観点も含まれるが、今後の財政事情を鑑み、大規模な展示替え工事を実現させることは以後困難であることを強く意識した。おそらく、今後博物館活動を続けていけば、展示内容を更新したくなることもあるだろう。その時に大規模な工事をしないと展示替えができないとなれば、いつまでも展示内容を更新できなくなる。先述した展示ケースの工夫から始まり、実のところ当館の常設展示室は、解説パネルも全て掛け替えを行えば容易に変えることができるようになってきている。今回のリニューアルでもこの点が大きな助けとなった。

3. 効果と課題

実施のために紆余曲折を経て、工事の予算だけを見れば約8,000万円という、展示リニューアルという事業としては低予算の中で行った当館の展示リニューアルは、お陰様でリニューアルオープン以降、リニューアル前よりよくなったと来館者からご意見をいただくことができている。大きな要因は何か。詳細なアンケートを取っているわけではないため実証的なことは述べられないが、筆者の受けている印象をまとめる。

今回のリニューアルにおいて来館者が受けた印象は、展示内容が変わった、明るくなっただろう。展示内容が変わったという印象は、大型展示資料を撤去したことが第一に大きい。リニューアル前の当館の展示と言えば、とにかく御船祭の舟山車の印象が強かった。この舟山車が常設展示室に展示されている限り、常設展示の印象は変わらなかったのだ。リニューアルで舟山車を撤去し、代わりにエントランスホールに展示していた城山荘の軸組模型と「ゆかりのある人々」の展示ケースを配置したことで、大きく印象を変えることができた。同様に堅穴住居の復元模型を撤去したことも、展示替えを印象付けることになった。リニューアルを印象付けるためには、まず大型の展示資料を変えるこ

とにある。

次に明るくなったという印象だが、照明をLEDスポットライトに変えた効果だと言える。光源の変化もさることながら、リニューアル前のスポットライトはハロゲン電球を使用していたため、ややもすると一ヶ月で電球が切れてしまい、交換する必要があった。当館職員としては、極力電球の交換を行っていたが、開館前の30分間で交換することは時間との闘いでもあり、なおかつ行事などが重なっている繁忙期には対応しきれないことがあった。来館者から展示室が暗いとの指摘を受けることはしばしばあった。その点、



写真6 「ゆかりのある人々」の展示ケース



写真7 「文学と大磯」の展示ケース



写真8 展示している別荘模型の一つ

LED照明は交換が半永久的に不要であり、光源を保っている点が明るいという印象に大きな影響を与えている。また、キャプションの地色を白色にしたことも大きいだろう。リニューアル前のキャプションの地色はシルバーグレーであった。このキャプションの地色は、他の博物館施設を見ていると流行りがあるようで、近年、開館あるいはリニューアルを行った施設は、大抵地色を白色にしている。かつては地色を黒色にし、文字色を白色にすることが流行っていたようだ。オーソックスに地色を白色、文字色を黒色にしたキャプションは読みやすく、また、明るい印象を与える。近年の流行は、この明るさを反映しているのだろう。

好評価の一方で、反対の意見をうかがうこともある。筆者が指摘を受けた意見の中には、常設展示が象徴的であるという意見があった。今回のリニューアルの展示では、極力解説文を少なくし、テーマごとの解説を、大項目、中項目とそれぞれ一つのパネルに集約している。結果的に、解説文の文字数は限られ、説明し足りないことがしばしばあった。もちろん、解説文が長いことは来館者にストレスを与えるため、必ずしもよいことではない。しかし、解説文を短くするのなら、図表を工夫するなど他の方法がある。今回のリニューアルではこの配慮がほとんどなかった。

むしろ、考え方としてはテーマに関連した資料を象徴的に配置することによって、来館者に対して資料の造形としての印象を与えることに主眼が置かれていたように思う。この考え方は基本設計の段階で強く描かれており、実施設計の検討から加わった筆者にとっては、本音を言うときかなりの違和感を持った。筆者自身が歴史分野を担当していることもあると思うが、地域博物館の展示を考えたとき、資料を単純に配置しただけでは、来館者には展示の意図が伝わりにくいだろう。前項で述べたとおり、歴史展示はある程度の叙述があって成り立つものであり、資料のみで展示することは難しい。来館者にも象徴的だという印象を与えておき、地域の事柄を伝える上で、通史的配慮のある展示を行いたかったと反省している。

ここからは、実際に筆者が展示リニューアル事業に携わって感じた課題をまとめる。正直に言って、筆者自身は今回の事業については反省することばかりが思いつく。その大きな要因に、事業の進め方における課題があるため、ここではその点を詳述する。

当館のリニューアルが難航した大きな要因の一つとして、基本設計が策定された後、事業が三年間凍結したことがある。平成22年度内に基本構想と基本設計が順調にまとめられ、この二つの計画には関連性が保たれていた。しかし、たかが3年のことではあったが、事業が凍結した間に、職員の異動があり、基本設計の当初の意図をそのまま実施設計に反映することは非常に困難な状況に陥った。平成25年度に、予算的措置が

ないまま基本設計の内容を実施設計に結び付ける検討を館職員で行った。その際は、基本設計の展示イメージを具体化する作業で、大変な困難を感じた記憶がある。当時の館職員でどのような展示にするのか案を出し合ったが、基本設計のイメージが具体性に乏しく、結局分野ごとのゾーニングを検討するだけで1年が経過した。

今振り返ると、この時に少なくとも各分野で展示する資料の一覧を作成する必要があっただろう。平成26年5月に、実施設計委託業務の契約を締結し、委託業者と具体的な打ち合わせが始まった。ようやくこの実施設計の検討段階において、具体的な展示資料の選定が始まった。しかし、この作業が労力を要した。委託業者とのやり取りの中で、具体的な展示資料を示す場合、資料名はともかく、写真画像、寸法が必須の情報となる。大変残念なことに、当館では収蔵資料の把握を、資料の受入台帳によって行っているが、この受入台帳には受入番号、受入年月日、資料名、数量、受入方法程度の情報しか登録しておらず、写真画像の作成や採寸を一から行う必要があった。資料整理にはある程度の時間が必要であるため、寄贈などの受け入れがあった場合、なるべく早く書類上のやり取りを済ませる関係から、受入台帳には簡易な情報しか登録していない。そして、さらに詳細な整理、調査となると、まとめて時間を割いて行わなければならない現実から、整理、調査が後手に回っていた。他分野はともかく、歴史担当の学芸員が配置されて4年目の状況で、歴史分野には本来存在する筈の開館以来26年の蓄積は存在していなかった。もちろん、これは筆者の力不足によるものではあるが、資料を受け入れた段階で、きちんとした資料整理が行われていれば、資料選定の作業を比較的にスムーズにできたことは間違いない。

理想から言うと、展示資料の選定は、やはり基本設計の段階からなされているべきであった。近年、博物館の展示手法として、学問分野をまたぐ展示が見られるが、当館も人文系と自然科学系の両分野を扱っている強みを活かして、学問分野を横断した展示を行うことは十分にできた筈である。リニューアル後の展示を見ると、わずかながら自然分野と考古分野の展示が平行していたり、歴史分野の展示の中に、発掘の成果として近代の煉瓦の展示があつたりするが、学問分野を横断した成果を発表する場とはならなかった。展示資料の一覧を早い段階から作成し、各分野の担当者が横断的に検討することができれば、より学問分野が融合した展示もできただろう。

そして、翌平成27年9月から展示工事着手となり、現場工事は平成28年3月から開始し、同月22日から11月2日を休館にしてリニューアル工事を行った。工事中も工事委託業者、工事監理委託業者と定期的な打ち合わせを行い、事業を進めていったが、実施設計段

階で綿密に検討できていなかったことも多く、工事中に様々な要因で変更を行うことがあった。変更を行うことによる事務作業も増え、最終的には契約金額の中で工事内容を調整することになった。博物館の展示工事は、実施してみて判明することや、調査研究の進捗によって変更せざるを得ないことが発生することはあるだろうが、それにしても計画が甘かった点は否めない。

当館の展示リニューアルは、なかなか実現しなかったところを、旧吉田茂邸の再建という機運に乗じて俄かに実現した背景がある。実現性が見通しが立たなかった点から、館職員相互の意見調整がなかなか進まなかった現状もあるが、見通しが立っていなかったとしても、実現に向けて館職員で綿密な打ち合わせができていれば、より計画的に事業を進められただろう。

おわりに

少子高齢化を迎え、今後どこの自治体においても財政難が見込まれる中、自治体直営の博物館施設が常設

展示のリニューアルを行うことは、益々難しくなるだろう。しかしながら、多くの博物館施設がバブル期に建設され、今後老朽化に伴うリニューアルの検討が予想される中、リニューアルの機運はあると考えられる。30年前の展示手法が古いこともあるだろう。学芸員として博物館施設に勤めているのであれば、展示リニューアルの希望を抱かないことはない。大事なことはいつ訪れるかわからない機運に備えて、常にリニューアルを意識した調査研究活動を行い、実現の可能性が見えてきたときには、予算を限りなく抑えた中で今後の維持管理を考慮した展示を提案していくことが、小規模博物館の学芸員に求められることなのではないだろうか。実際に、小規模博物館の展示リニューアル事業の末端に携わり、強い反省と共に筆者が感じたことである。本稿が、常設展示のリニューアルを検討している他の博物館施設の参考になれば幸いである。

本稿は、『民具マンスリー』第50巻11号（2018年2月）掲載稿を転載したものである。

「ワークショップ・石仏クラブ」調査報告

——旧大磯町地域の石造物

* 川邊 絢一郎

1. 概要

本稿は、平成 24 年から平成 27 年にかけて大磯町郷土資料館（以下、当館）が実施した「ワークショップ・石仏クラブ」（以下、石仏クラブ）による大磯町内の石造物調査報告である。はじめに、大磯町における石造物調査史と石仏クラブの概要について述べる。次に、石仏クラブによる調査結果の概要を記した上で、調査結果を報告する。なお、紙面に限りがあるため、①新たに記録を作成した石造物と、②報告書の修正を中心に報告する。

2. 「石仏クラブ」について

大磯町では昭和 58 年から平成 7 年にかけて石造物の悉皆調査が行われている。その成果として、道祖神のみを重点的に報告した『道祖神調査報告書』と道祖神以外の石造物を報告した『石造物調査報告書』（全 7 巻）が、大磯町教育委員会から発行された。『石造物調査報告書』の第 7 巻の発行は平成 7 年であり、悉皆調査の終了からすでに 20 年以上が経過している。

当館で町内の石造物の現状を把握するための試みとして、石仏クラブを実施した。はじめに、相模原市立博物館学芸員・加藤隆志氏と、平塚市博物館学芸員・浜野達也氏、当館元学芸員・佐川和裕（現・大磯町参事（歴史文化担当））による石仏調査に関する講座を実施し、講座聴講者のなかから有志をつのり、石仏クラブを発足した。平成 19 年度末から調査を開始し、平成 26 年度末には鳴立庵を除く旧大磯町全域の調査を終えた。石仏クラブの事務局業務は、佐川和裕と当館元学芸員・保坂匠が行った。



写真 1 石仏クラブの調査風景

3. 旧大磯町地域の石造物の概要

前述の調査報告書には、大磯町全域で 1000 基以上の石造物が記録されている。そのうち、旧大磯町域のものは、石造物 470 基・道祖神 25 体である。石造物には通し番号が付されており、旧大磯町域・旧国府町域・鳴立庵でそれぞれ番号が振り分けられている。

石仏クラブの調査では、新たに 91 基の石造物を記録した。前述の報告書作成のための調査（以下、前回調査）では記録されなかったもの以外に、新しく造立されたものが含まれている。また、前回調査では対象としていなかったコンクリート製の石造物も、信仰に関わるものに限り調査対象としている。

本稿では、新たに記録を行った石造物の一部を紹介し、残りのものは表 2「旧大磯町域の石造物（新規分）」を掲載してそれに代える。また、すでに報告が行われてはいるものの、修正を要するものについては、表 2「旧大磯町域の石造物（修正分）」にすべて記載した。新たに記録を作成した石造物については、『報告書』記載の番号を引き継いで番号を割り振り、修正分については、『報告書』における番号をそのまま利用した。

4. 新規追加分（表 1 参照）

新たに記録した石造物 91 基を地域ごとに分けると、高麗 34 基、神明町 3 基、山王町 4 基、北下町 4 基、南下町 13 基、茶屋町 3 基、裡道 2 基、台町 3 基、西小磯 25 基となる。高麗や西小磯の数が多くなっているが、これは高来神社や宇賀神社にある石造物を多く記録しているためである。両地区以外にも茶屋町の愛宕神社や裡道の白山神社で新たな石造物の記録が作成された。



写真 2 新設された高来神社の灯籠（No. 475）

神社等の敷地内においては、前回調査以後に建立されたものをいくつか記録した。高来神社では、平成 8・11・14 年に建立された灯籠の記録を作成した。

（* 当館学芸員）

各地区の寺院敷地内でも新たな石造物が建立されている例は多い。台町の妙大寺や高麗の善福寺、神明町の楊谷寺で、記念碑や供養塔が建立されている。

前回調査よりも古い年代のものや年代がわからないものは、どう解釈すべきだろうか。

まず、前回調査時にすでにその場所にあったものが見落とされていたものがあると考えられる。

次に、前回調査時に発見されたものの、何らかの理由で記録されなかったものがあると思われる。たとえば、埋設された玉垣 (No. 523) などは、報告書に記載しなかったのではないかと考えられる。



写真3 「大正拾参年五月」の銘がある (No. 523)

最後に、前回調査時にはその場所に当該の石造物が存在しなかったケースが考えられる。たとえば、南下町・東光院の地藏菩薩 (No. 528) は、聞き取り調査によって境内の個人の墓地にあったものを移動したものであることがわかっている。また、高来神社の石祠 (No. 491) は外から持ち込まれたものであり、南下町・熊野神社の疱瘡神供養塔 (No. 519) もどこからか持ち込まれたものであることが記録されている。



写真4 地藏菩薩 (No. 528)

5. 修正分 (表2「旧大磯町域の石造物 (修正分)」参照)

『報告書』の記載を修正する必要があるものにつ

いては、各『報告書』ごとに石造物の番号と修正を要する部分について記載した。

修正の内容は、前回調査時から石造物が移動された例が多く、一部、銘文の読み間違い、新旧字体の誤りがあった。



写真5 善光寺巡礼供養塔 (No. 364)

その他、摩耗により銘文や像様がわからなくなっているものが多数見受けられた。



写真6 風化の進む六地藏 (No. 361)

6. まとめ

二十年前に一度調査が行われた石造物を再調査した結果、大磯地区では次のようなことが明らかになった。

一点目は、地区内の石造物の数の増加である。新たに調査された石造物には、新たに建立されるものと外から持ち込まれたものがある。

二点目は、もともと地域内にあったものの記録されていなかった石造物があることである。

三点目は、銘文の誤りや石造物の移動があることである。

上述のうち、一点目の結果は重要だと考える。石造物という一見変わりにくいように思われる民俗においても、わずか二十年の間でこれだけの変化があることがわかった。

表1 旧大磯町域の石造物(追加分)

通し番号	名称	地区	所在地	年代	銘文	総高(cm)	総幅(cm)	総厚(cm)
471	灯籠	高麗	高来神社	不明	なし	205.0	69.0	69.0
472	灯籠	高麗	高来神社	平成11(1999)年	(正面) 献燈／植幸／二宮喜代司／二宮幸大 (裏) 平成十一年三月吉日建立	182.0	77.0	77.0
473	灯籠	高麗	高来神社	平成11(1999)年	(正面) 奉納／平成十一年三月吉日建立／奉賛会	207.0	89.0	89.0
474	灯籠	高麗	高来神社	平成8(1996)年	(正面) 奉納／平成八年建立／奉賛会	203.0	91.0	91.0
475	灯籠一对	高麗	高来神社	平成14(2002)年	(正面) 献燈 (裏) 平成十四年四月吉日／奉賛会建之	196.0	59.0	59.0
476	さくら植樹記念	高麗	高来神社	昭和61(1986)年	(正面) さくら植樹記念 (左) 高麗山神興保存会 (裏) 昭和六十一丙寅年三月吉日	88.0	11.5	15.5
477	敷石奉献碑	高麗	高来神社	大正5(1916)年	敷石三間半 (正面) 献奉 大磯魚市口(場) 口口四間 (裏) 大正五年	58.0	23.0	23.0
478	不明	高麗	高来神社	明治39年(1906)	(正面) 明治九年七月十八日修補／曾根田重兵衛	62.0	19.0	17.0
479	不明	高麗	高来神社	明治38年(1905)	(正面) 明治三〇八年四月十八日新築／曾根田重兵衛	62.0	19.0	17.0
480	記念之碑	高麗	高来神社	不明	(正面) 大口…□／入口…□／年回季／記念之碑／遣子文吾／建之			
481	力石	高麗	高来神社	不明	なし	30.0	43.0	60.0
482	力石	高麗	高来神社	不明	なし	33.0	40.0	80.0
483	灯籠一对	高麗	高来神社	平成14年(2002)	岩田順次郎／岩田久子／平成十四年 岩田高幸 岩田操／十一月二十四日 岩田高明 岩田準二郎／奉納	210.0	65.0	65.0
484	鳥居(倒壊)	高麗	高来神社	元文5年(1741)	(右側) 奉寄進石華一基 元文五年□／月十八日建 (左側) 豊永寺探題委雲院前住前大僧正法印大和尚位貫親			
485	奉納碑(金巻百圓也)	高麗	高来神社	昭和15年(1940)	(正面) 月参満満週年記念／金巻百圓也 横濱小島／皇紀二千六百年十一月	60.0	43.0	5.0
486	灯籠	高麗	高来神社	不明	なし	90.0	80.0	80.0
487	石祠	高麗	高来神社	昭和56年(1981)	(左側) 昭和五十六年辛酉五月吉日／祭祉者 堀口隆三 (裏側) 施行者／中一総業(株)／昭和五十六年五月吉日 (祠内表) 豊受姫大神	165.0	120.0	130.0
488	靖国之塔解説碑	高麗	高来神社	不明	(正面) 靖国之碑は／元満州関東軍 軍司令官／陸軍大将 植田謙吉之書 (裏) 二宮喜代司書 之書	65.0	52.0	24.0
489	灯籠	高麗	高来神社		なし			
490	神使(狐)石造(一对)	高麗	高来神社	不明	なし	27.0	20.0	11.0
491	石祠	高麗	高来神社	不明	なし	45.0	18.0	15.0
492	龍神(祠)	高麗	高来神社	不明	なし	45.0	40.0	33.0
493	賽銭石箱	高麗	高来神社	不明	(上部) 賽銭	40.0	55.0	30.0
494	賽銭箱(か)	高麗	高来神社	不明	なし	66.0	82.0	33.0
495	比良加久神社改築遷座記念碑	高麗	高来神社	平成12年(2000)	(一部) 比良加久社修復記念／平成十二年度高来神社奉賛会	132.0	138.0	不明

496	サクラ植樹記念碑	高麗	高麗山山頂	昭和61年(1986)	(階段側)さくら植樹記念 (東側)高麗山神興保存会 (北側)昭和六十一丙寅年五月吉日	88.5	15.5	12.5
497	境界石	高麗	高麗山山頂	不明	(正面)界イニ (裏)判読不能	33.0	12.4	12.4
498	石祠	高麗	高麗山山頂	平成22年(2010)	(基壇裏側)奉納/高来神社奉賛会/平成22年8月吉日	133.0	75.0	89.5
499	地藏像	高麗	高麗山中腹	不明	なし	54.0	60.0	31.0
500	本堂新築落慶記念碑	高麗	慶覚院	平成20年(2008)	(正面)宗1200年慶讃大法会記念/道心の中に衣食あり/衣食の中に道心なし/佛教大師最澄 一心戒文/本堂新築落慶 平成20年4月20日/(裏)寄進者名等	156.6	400.0	158.0
501	甘露水之塔	高麗	慶覚院	平成5年(1993)	(表)關伽井戸/甘露水之塔 (裏)寄進者/山本石材店/建立之/平成五年八月廿八日/大安吉日	138.0	121.4	114.7
502	供養石	高麗	花水川土手	不明	なし	32.0	30.0	22.0
503	五輪塔一部	高麗	花水川土手	不明	(周囲に梵字4字)			
504	即如上人御巡回記念植樹碑	高麗	善福寺	平成3年(1991)	記念植樹/即如上人御巡回/平成三年一月二十九日	75.3	73.0	18.5
505	手洗石の基壇(か)	神明町	神明神社	不明				
506	名号碑	神明町	楊谷寺	平成23年(2011)	(正面)天台宗 楊谷寺/亮徳 書 (印) (裏)為禿影植徳居士菩提/平成二十三年十二月吉日/施主 近藤禎志	174.0	142.5	83.0
507	手洗石	神明町	楊谷寺	平成23年(2011)	なし	20.0	25.0	16.5
508	三澤川名碑	山王町	三澤橋	昭和15年(1940)	(正面)三澤川	79.4	28.3	28.4
509	三澤橋名碑	山王町	三澤橋	昭和15年(1940)	(正面)三澤橋 (裏面)昭和十五年五月	79.4	28.3	28.4
510	無縁の墓	山王町	無縁塚	不明		68.0	93.0	6.5
511	石祠型庚申塔(残欠)	山王町	日枝神社	寛文12年(1672)か	寛文(拾)二	51.5	38.0	53.0
512	六地藏	北下町	旧円城院墓地	平成17年(2005)	六地藏尊建立発願功德主/一、金壹百万円/永楽ひろ/建立協力功德主/一、金六拾万円/飯田兼明/一金五万円/二、挺木タケ/一金二拾万円/川崎康弘/一金拾万円/安倍川松雄/平成十七年十二月吉日開眼/現董 智定/工事/平塚石半	141.0	279.3	115.3
513	玉垣(欠損)	北下町	浅間神社	大正15年(1926)	大正拾五年四月	75.0	16.0	14.5
514	鳥居	北下町	浅間神社	昭和8年(1933)	(額東)浅間神社 (裏屋右)氏子中/若世話人/安倍川甚太郎/辻義雄/佐藤仙太郎/長岡萬吉/渡邊清治/加藤新太郎 (裏屋左)昭和八年四月改築/氏子中/宮世話人/尾崎由五郎/山田山次郎/飯田鐵五郎/西海音次郎	259.0		
515	辨財天神	北下町	長七丸稻荷横	明治41年(1908)	明治四十一年六月六日建/辨才天神	70.0	25.0	80.0
516	大磯八景記念碑照が崎歸帆	南下町	照ヶ崎ブール西側	平成20(2008)年	(正面)大磯八景の一/照が崎歸帆/いさ火の照が崎までつゝく見ゆ/いかつり舟や今帰るらん/敬之 (裏)平成二十年七月/伊東靜郎書/平成二十年九月建立	140.0	96.5	14.0
517	稲荷祠	南下町	駐車場内	不明	なし	105.5	34.0	59.0
518	地藏菩薩	南下町	浜之町道祖神社	不明	なし	38.5	18.0	12.5
519	疱瘡神供養塔(か)	南下町	熊野神社	不明	なし	27.0	24.5	15.5

520	稻荷祠	南下町	南下町	不明	なし	11.0	47.0	63.0
521	鳥居	南下町	熊野神社	不明	(額東)道祖神	224.0	220.0	16.0
522	玉垣残欠	南下町	熊野神社	不明	南下早一同		18.0	68.0
523	玉垣残欠	南下町	熊野神社	大正13(1925)	大正拾三年五月		18.0	66.0
524	神使(狐)石像	南下町	熊野神社	不明	なし	21.0	17.0	10.0
525	屋根飾り(宝珠)	南下町	東光院	不明	なし	162.0	113.0	121.0
526	五輪塔の一部(か)	南下町	東光院	不明	なし	58.0	24.0	22.0
527	五輪塔の一部(か)	南下町	東光院	不明	なし	34.0	25.0	22.0
528	地藏菩薩	南下町	東光院	不明	なし	88.0	45.0	42.0
529	五輪塔残欠	茶屋町	茶屋町公民館	不明	なし			
530	階段改修碑	茶屋町	愛宕神社	大正14年(1925)	階段新口/茶屋町氏子中/氏子総代 小林前汪(旁は玉)/ 区长 三宅保造/総代 柳田市蔵/総代 笹尾永三/建築委員 笹尾勝次郎/建築委員 二宮嘉一郎/大正十四年十二月竣工/請 工事請負人 新倉今蔵	39.0	55.5	
531	階段改築碑	茶屋町	愛宕神社	大正14年(1925)	階段改築/南本町氏子中/氏子 今村與市/総代/區長 堀江 豊吉/総代 阿部口吉/同 水谷口五郎/工事 神田甚作/請 負人	39.0	64.0	
532	五輪塔一部	裡道	白山神社	不明	なし			
533	神名碑か	裡道	白山神社	不明	口神	39.0	29.0	10.0
534	永代供養墓 山之宝塔	台町	妙大寺	平成14年(2002)				
535	灯籠	台町	妙大寺	昭和13年(1928)	昭和十三年十一月造/施主 宮代			
536	ゆめのちかみち建設碑	台町	地下道入口	昭和54年(1979)	(正面)相州陶綾郡大磯宿加宿東小磯村/ゆめのちかみち (右側) 昭和五十四年七月吉日/神奈川県中郡大磯町長 豊田由登之書			
537	鳥居	西小磯	宇賀神社	不明	昭和三(以下欠損)			
538	石灯籠	西小磯	宇賀神社	不明	なし	98.0	80.0	44.0
539	神使(狐)石像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	45.0	30.0	18.0
540	神使(狐)石像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	25.0	20.0	12.0
541	神使(狐)石像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	50.0	30.0	18.0
542	神使(狐)石像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	20.0	36.0	15.0
543	神使(狐)石像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	18.0	14.0	8.0
544	神使(狐)石像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	18.0	11.0	7.0
545	神使(狐)石像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	14.0	15.0	11.0
546	神使(狐)石像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	18.0	17.0	10.0
547	神使(狐)石像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	18.0	17.0	10.0
548	神使(狐)石像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	28.0	15.0	11.0
549	蛇像	西小磯	宇賀神社	不明	なし	18.0	20.0	20.0
550	シヨ一ヅカバアサン	西小磯	西小磯東青年会館	不明	なし	41.0	25.0	19.0
551	六地藏	西小磯	西小磯東青年会館	不明	なし	48.0	20.0	
552	庚申塔	西小磯	西小磯東青年会館	不明	(正面右側)庚申 供養	64.0	34.0	
553	境界石	西小磯	西小磯286付近	不明	伊達家所有地	44.0	22.0	

554	礎石	西小礎	八坂神社境内	不明	なし	16.0	37.0	37.0
555	句碑	西小礎	西小礎287	平成4年(1990)	わだつみに (正面)昭和二年五十三才 物の命 くらげ叶 虚子 (裏面)昭和三十八才 貫鐵居士製作	93.0	63.0	6.0
556	水神塔	西小礎	西小礎405	大正6年(1916)	(正面上部)神水 (正面)大正拾壹年式月建之 永代借地 工費金口口百拾圓也 /仲手川留吉 渡邊柳蔵 秋葉亀吉 渡辺時次郎 渡辺萬造 鈴木留吉 渡辺清太郎 渡辺半七 堀口平四郎 筒井長作 (裏面)請負人 二挺木竹次郎	117.0	35.0	90.0
557	境界石	西小礎	西小礎387付近	不明	(正面)地境 式口口口 (側面)三井家	24.0	21.0	12.0
558	境界石	西小礎	西小礎521付近	不明	(正面)地境 昭和十二年 (側面)三井家	17.0	14.0	14.0
559	須賀基督教会信徒の墓	西小礎	西小礎西共同墓地	不明	(正面)我は復活なり 生命なり 平塚福音キリスト教 (側面)須賀基督教会信徒の墓	165.0	232.0	244.0
560	大礎キリスト教会納骨堂	西小礎	西小礎西共同墓地	不明	(正面)我は最先なり 最後なり 活ける者なり	194.5	209.0	188.0
561	石像	西小礎	西小礎西共同墓地	不明		69.0	40.0	16.0

表2 旧大磯町域の石造物(修正分)

通し番号	名称	地区	修正の概要	修正後	修正前	報告書
45	三界萬靈無縁供養塔	高麗	銘文に誤り	(基壇右側) 山下村 長兵工 (基壇左側) 同 茅沼長左工門	(基壇右側) 山下村 甚兵工 (基壇左側) 同 茅沼幸左工門 (左側) 大正4年	1
46	馬頭観音	高麗	銘文に誤り	(右側) 大正4年	大磯	1
122	地藏菩薩	長者町	銘文に誤り	大磯		1
78	馬頭観音	茶屋町	移動	茶屋町公民館	南下町1341	3
85	石猿	南本町	移動	愛宕神社参道入口		3
88	地藏菩薩	茶屋町	移動	愛宕神社茶屋町側 階段下	茶屋町1266	3
173	弘法供養塔	北下町	銘文に誤り	維時天保五甲午歳三月二十有一日	維時天保五歳甲午三月二十有一日	3
251	八大竜宮神	南下町	名称に誤り	八大竜宮神	八大竜宮神	3
240	馬頭観音	南下町	銘文に誤り	馬頭観世音	馬頭観世音	3
257	子育地藏	茶屋町	年代に疑義	文化十四年	(基壇の年代が記載)	3
258	稻荷社	茶屋町	情報追加	この土地を購入したK氏が、『報告書』の調査時から7・8年前、古いものに代わって新しい稻荷社を造った。この稻荷は平磯稻荷と呼ばれ講中があったが、昭和30年頃解散したといふ。		3
286	一の鳥居	台町	銘文に誤り	(裏面) 大磯町臺町	大磯臺町	4
363	善光寺巡礼供養塔	西小磯東	銘文追加	(基壇左側) 鈴木 太兵衛 全 タツ 全 キン 江藤 ツネ 全 マト	(報告書記載の銘文に左記を追加)	4
364	善光寺巡礼供養塔	西小磯東	銘文に誤り	(一段目) 土屋庄五郎 (二段目) 全 啓造	(一段目) 土屋庄三郎 (二段目) 全 格造	4
369	三四ヶ所巡礼供養塔	西小磯東	情報修正	右記は梵字の説明であり、銘文として刻まれていない。	(梵字) 阿弥陀三尊、観音、弥陀	4
376	鳥居	西小磯東	銘文に誤り	大磯町西小磯氏子中	大磯町西小磯氏中	4
458	馬頭観世音	西小磯東	銘文に誤り	馬頭観世音	馬頭観世音	7

年 報

平成 28 年度

◇ 平成 30 年 3 月 27 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 FAX 0463(61)4660